



三菱電機 **ビル** 空調管理システム

MEリモコン

形名

PAR-F30ME

取扱説明書



ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

この説明書は大切に保管してください。

お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。

お客様ご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

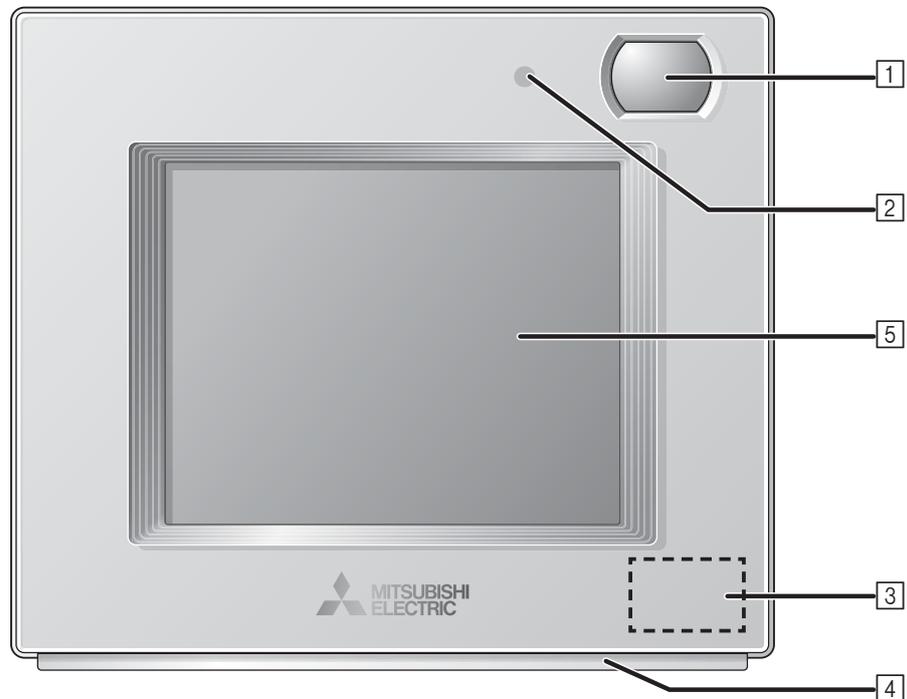
この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。

また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

製品の特徴

コントロールインタフェース



① 人感センサ

人感センサは、人の不在を検知し、省エネ制御を行います。

② 照度センサ

照度センサは、部屋の照度を検知し、省エネ制御を行います。

③ 温度センサ

室温を測定します。

④ LED インジケータ

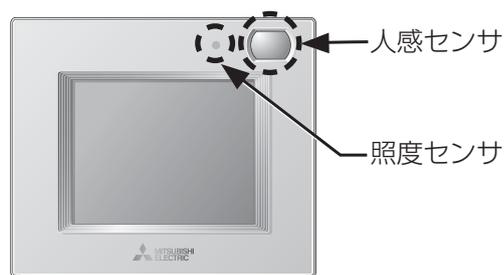
LED インジケータは、運転中に点灯、停止中に消灯、異常発生時に点滅します。

また、設定を行うことにより、運転モードや室温状態を色で表現することができます。

⑤ タッチパネル&バックライト付き LCD

室内ユニットの設定はタッチパネルで行います。バックライトは、タッチパネルに触れると一定時間点灯します。

■ 人感センサによる人感省エネ制御



- 人感センサが人の不在を検知すると人感省エネ制御を行います。
- 人感センサが一定時間人の動作を検知しない場合、不在と判定します。
- 次の人感省エネ制御モードを選択することができます。

人感省エネ制御モード	人の不在を検知時の制御
未使用	-
運転/停止	室内ユニットを停止します。
設定温度スライド	設定温度を省エネ側に変更します。
風量ダウン	風速を「低」に設定します。
サーモオフ	空調機をサーモオフ状態にします。

- 照度センサが検知する照度レベルに応じて人感省エネ制御を停止することもできます。
(例：在室者の夜間就寝時)

■ LED インジケータ



LED インジケータ

- LED インジケータは、点灯 / 点滅 / 消灯や色で運転状態を表示します。
- インジケータの色：青、水色、紫、赤、ピンク、オレンジ、黄、緑、黄緑、および白

動作状態	LED インジケータ
運転中	点灯します。(デフォルト：緑) *1*2
停止中	消灯します。
異常発生時	点滅します。
省エネ制御中 *3	設定された色で点灯します。(デフォルト：緑) *1
人感センサが人の動作を検知	高輝度 / 低輝度を二度、反転します。*1
ホーム画面操作時	高輝度 / 低輝度を反転します。*1

*1 LED インジケータ設定画面で設定することができます。

*2 運転モードまたは室温（3レベル）に応じた表示色に変更することができます。

*3 本機の人感省エネ制御を含みます。

LED インジケータ設定例

色	運転モード設定	室温設定
青	冷房（自動冷房）	0°C ~ 21°C (32°F ~ 69°F)
水色	ドライ	—
黄	送風	21.5°C ~ 26°C (70°F ~ 79°F)
白	自動	—
赤	暖房（自動暖房）	26.5°C ~ 40°C (80°F ~ 104°F)
黄緑	省エネ制御中	

目次

製品の特徴	2
コントローラインタフェース	2
安全のために必ず守ること	6
画面表示	10
画面構成	10
画面	11
メニュー構造	13
取扱説明書内のアイコンの説明	15
基本操作	16
運転 / 停止	16
運転モードおよび温度設定	17
風速設定および風向設定	20
ルーバー設定	22
ロスナイ設定	23
メニューの選択	24
メニューリスト	24
パスワードについて	25
メニューの選択	26
機能設定	30
日時設定	30
週間スケジュール設定	33
タイマー設定	36
表示設定	40
音量 / コントラスト調節	42
人感省エネ設定	43
LED インジケータ	49
タッチパネル補正	52
操作ロック	53
センサ検知レベル	54
設定温度範囲制限	59
設定温度自動復帰	62
メンテナンス	65
タッチパネル清掃	65
フィルター情報	66
トラブルシューティング	68
異常情報	68
仕様	70
本体仕様	70
同時使用可 / 不可組合わせ表	71

安全のために必ず守ること

- ◆ この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆ 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(感電注意)



(一般指示)

- ◆ お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- ◆ お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しく下さい。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく下さい。

一般事項

警告

特殊環境では、使用しないこと。

- ◆ 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食によるけが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

水・液体で洗わないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

薬品散布する場合、ユニットを停止し、カバーを掛けること。

- ◆ 薬品がかかると、けが・感電をするおそれあり。



感電注意

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)

- ◆ 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。



指示を実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

カバーを取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

端子台カバー・絶縁シートを外さないこと。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。
また、可燃性スプレーを使用しないこと。

◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

◆ 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

◆ 損傷によるけがのおそれあり。



禁止

部品端面に触れないこと。

◆ けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

保護具を身につけて作業すること。

◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



けが注意

保護具を身につけて作業すること。

◆ 保護具を付けないとけがのおそれあり。



指示を実行

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

◆ 環境破壊のおそれあり。



指示を実行

移設・修理をするときに

警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

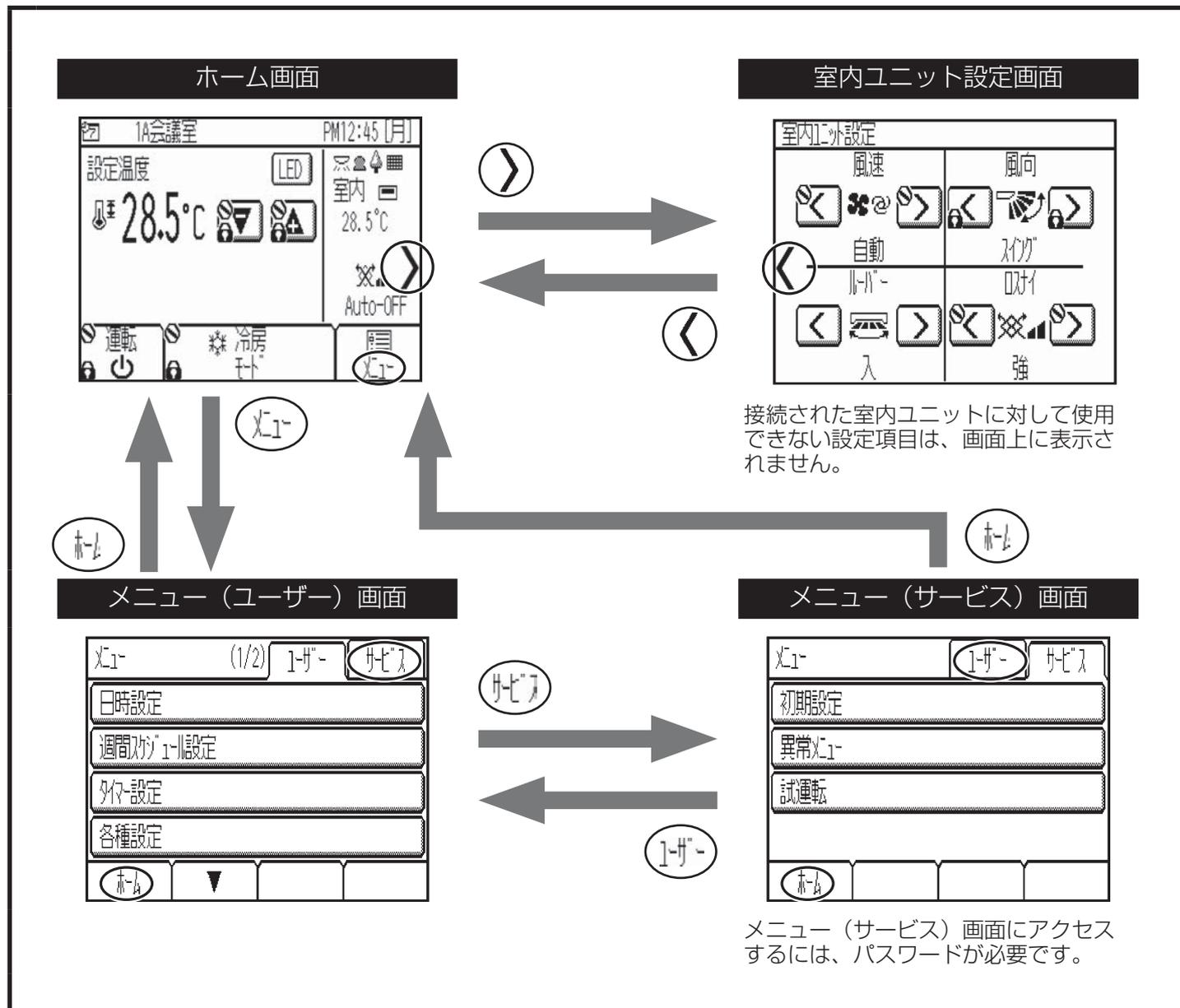
- ◆ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでコントローラに触れないでください。

- ◆ 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- ◆ 変色のおそれあり。

画面表示

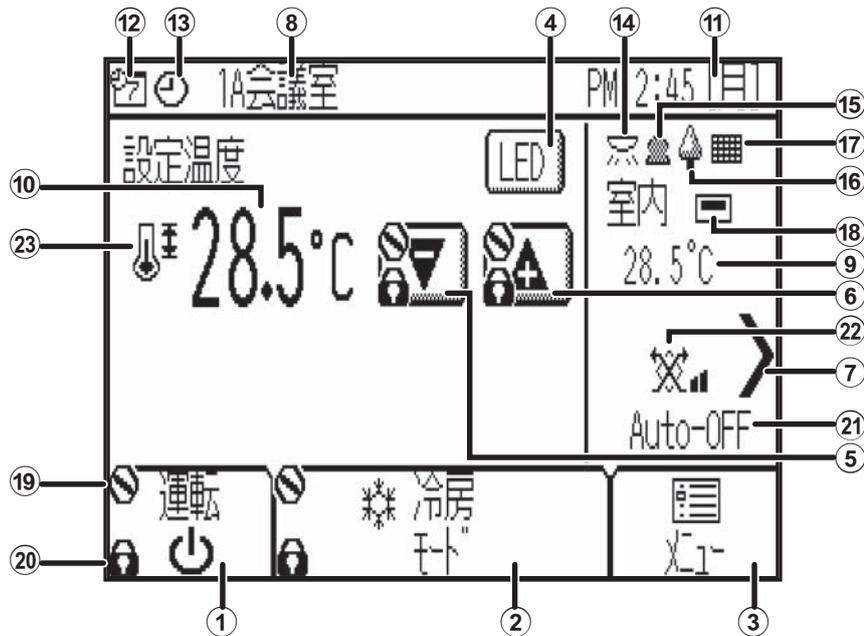
画面構成



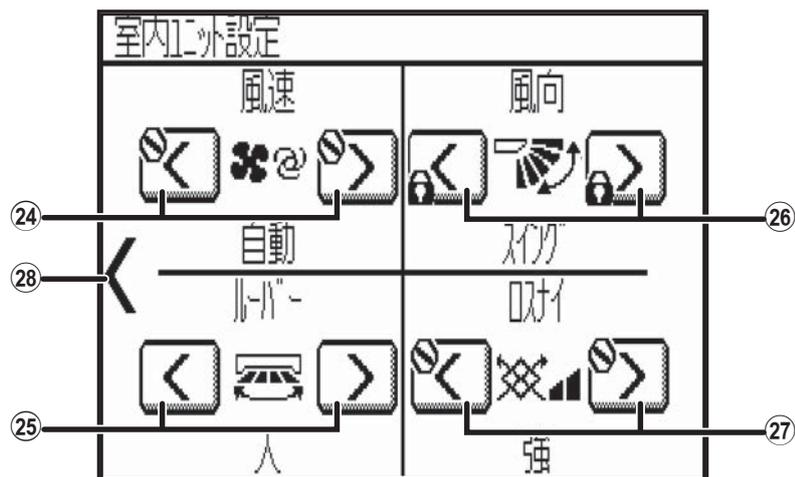
画面

■ ホーム画面

* 説明のため、すべてのアイコンが表示されています。



■ 室内ユニット設定画面



① [運転 / 停止] ボタン

室内ユニットの運転 / 停止を切り換えます。

② [運転モード] ボタン

運転モードを変更します。

③ [メニュー] ボタン

メニュー画面を表示します。

④ [LED インジケータ ON/OFF] ボタン

LED インジケータの ON/OFF を切り換えます。

⑤ ボタン

設定温度を下げます。

⑥ ボタン

設定温度を上げます。

⑦ ボタン

室内ユニット設定画面を表示します。

⑧ 部屋名表示

部屋名を表示します。

⑨ 室温表示

現在の室温を表示します。

⑩ 設定温度表示

設定温度を表示します。
運転モードに応じて表示が変わります。

⑪ 時刻表示

現在の時刻を表示します。

⑫ 表示

週間スケジュール設定が有効のときに表示します。

⑬ 表示

オン / オフタイマー設定が有効のときに表示します。

⑭ 表示

照度センサが既定レベルを超える明るい光を検知したときに表示します。

⑮ 表示

人感センサが人の動作を検知したときに表示します。

⑯ 表示

省エネ制御中に表示します。
ただし、本機の人感省エネ制御では表示されません。
(室内ユニットの機種により表示されない場合があります。)

⑰ 表示

フィルターのメンテナンスが必要のときに表示します。

⑱ 表示

⑨ の室温を検知するセンサ位置がリモコンのときに表示します。

室内ユニットのときは  アイコンを表示します。

⑲ 表示

集中管理中のときに表示します。

⑳ 表示

操作ロック設定が有効のときに表示します。

㉑ Auto-OFF 表示

消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。

㉒ 表示

ロスナイ（換気ユニット）連動設定のときに表示します。

㉓ 表示

設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。

㉔ 風速

風速を変更します。

㉕ ルーバー

ルーバーの入 / 切を切り換えます。

㉖ 風向

風向を変更します。

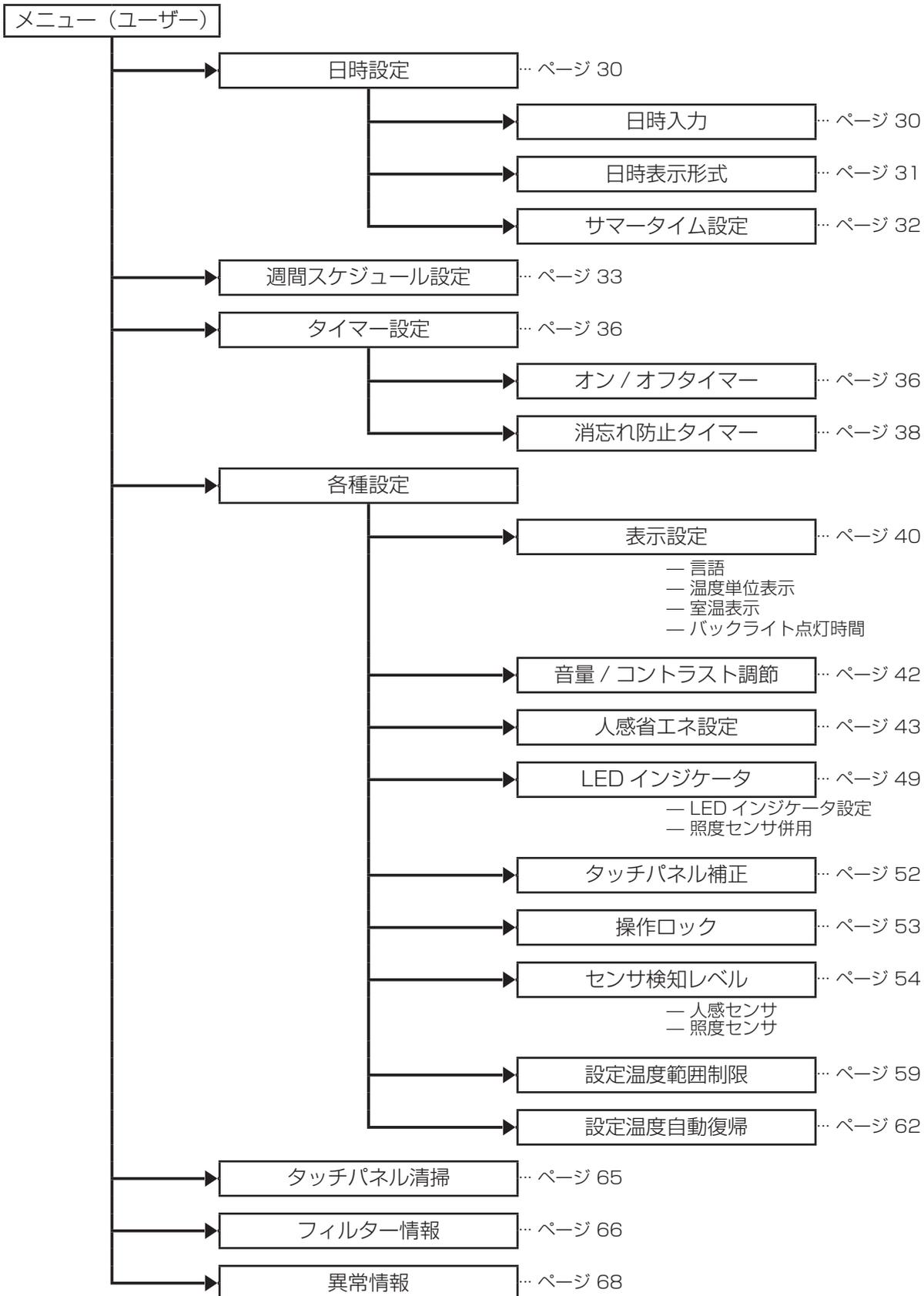
㉗ ロスナイ

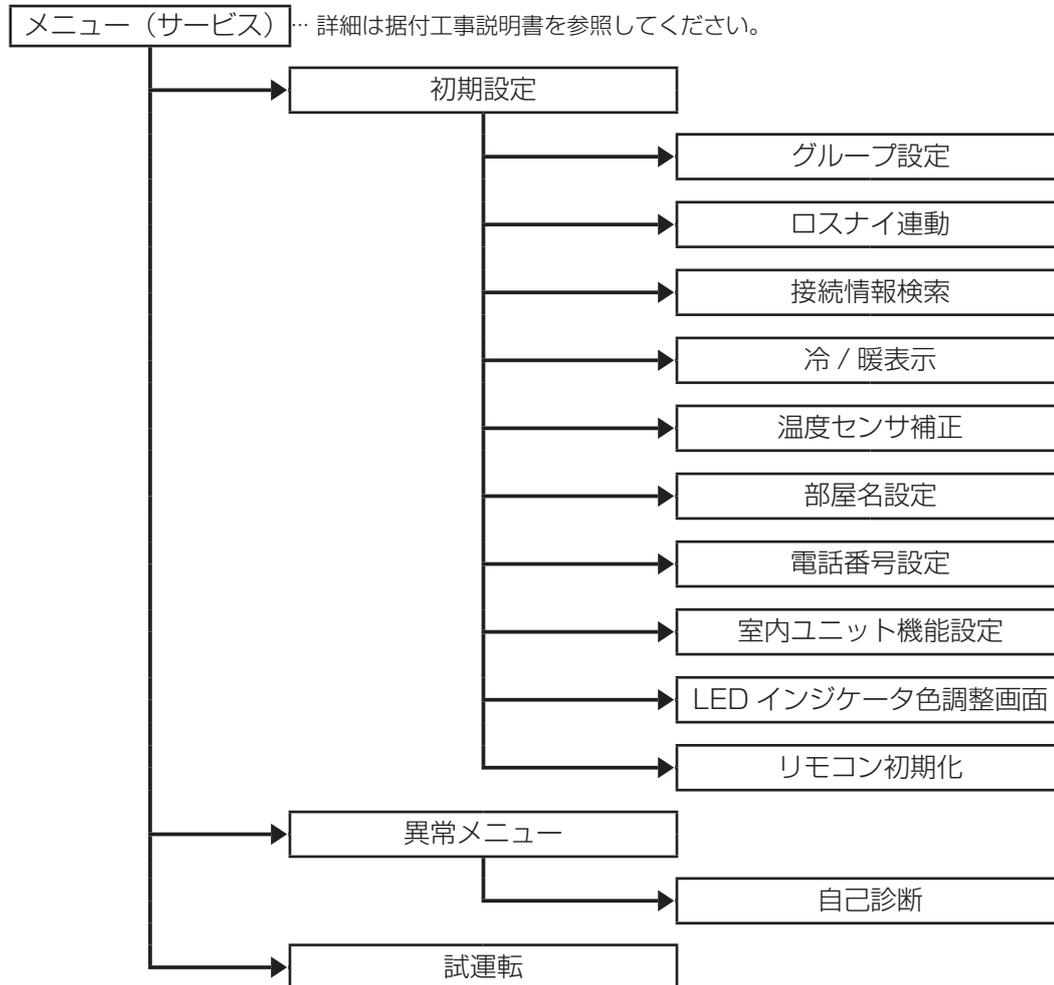
ロスナイの風速を変更します。

㉘ ボタン

ホーム画面に戻ります。

メニュー構造





室内ユニットの機種により、利用できない機能があります。

取扱説明書内のアイコンの説明

機能設定

タイマー設定



取扱説明書にマークがあるとき、以下の内容を表しています。



設定を変更する場合、ログイン画面でパスワードを入力する必要があります。

戻る		パスワード			Ver. **.**		
<	0000	>	1	2	3		
			4	5	6		
			7	8	9		
			0				
戻る		変更	OK				

< ボタン:カーソルを左に移動します。

> ボタン:カーソルを右に移動します。

0 - 9 ボタン:数字を入力します。

* パスワードがわからない場合、異なった場合は、設定変更およびパスワード変更はできません。



運転中にのみ操作することができます。



操作ロック中、あるいは集中管理中に操作することができません。

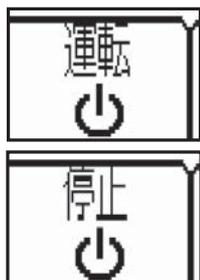
基本操作

運転 / 停止



ボタン操作

[運転 / 停止]



[運転 / 停止] ボタンにタッチして、室内ユニットの運転 / 停止を切り替えます。

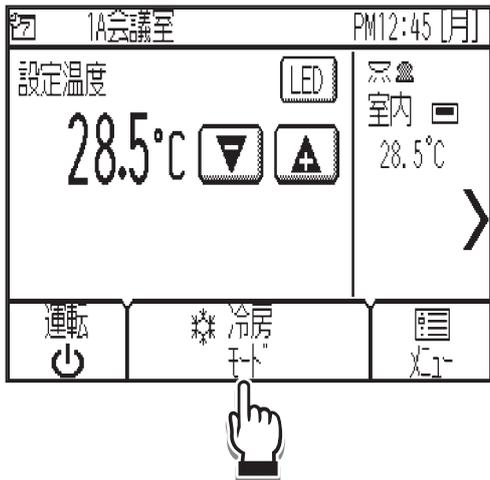
- * 室内ユニットが運転中のときに、LED インジケータが点灯します。
- * LED インジケータの表示は、設定により異なります。
- * ロスナイと室内ユニットが連動設定されているときは、室内ユニットの運転 / 停止に応じてロスナイも運転 / 停止します。
- * 運転を選択したとき、室内ユニットは、前回設定された運転モード、設定温度、および風速で運転を再開します。

運転モードおよび温度設定

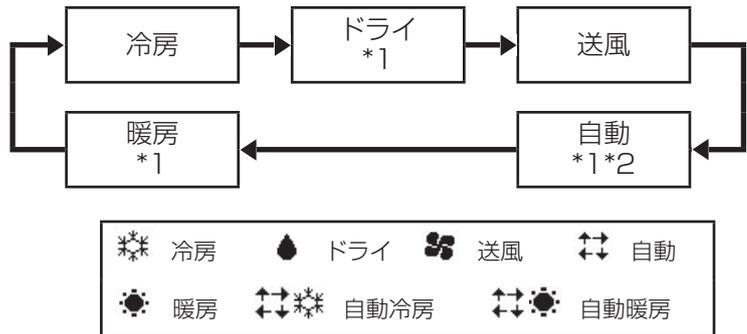


ボタン操作

[運転モード]



[運転モード] ボタンにタッチして、運転モードを設定します。



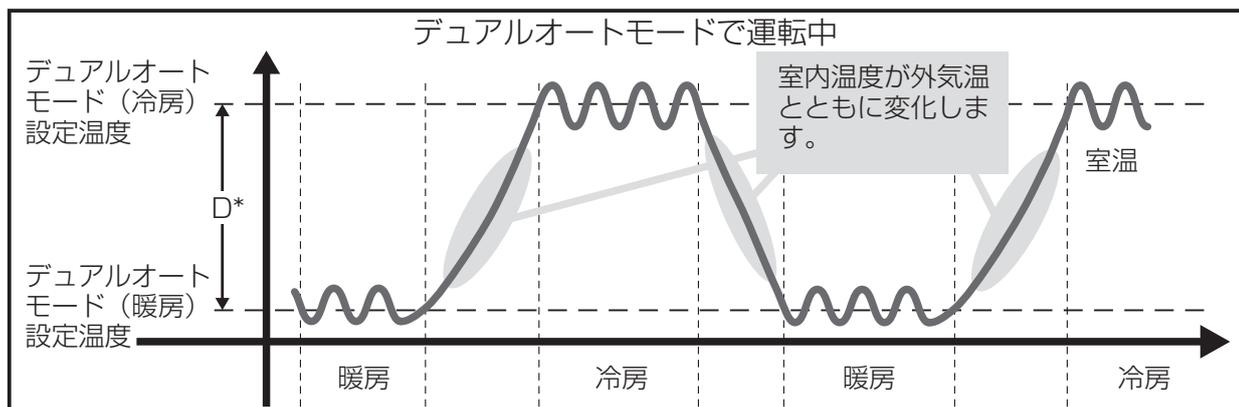
- *1 室内ユニットの機種により設定できない運転モードは、表示されません。
- *2 室内ユニットの機種によっては、デュアルオートモードになります。ただし、運転モードの表示は「自動モード」です。

モード名の点滅について

室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に点滅します。先に運転を開始した他の室内ユニットの運転モードが優先されるため、後から設定を変更することはできません。

デュアルオートモード：

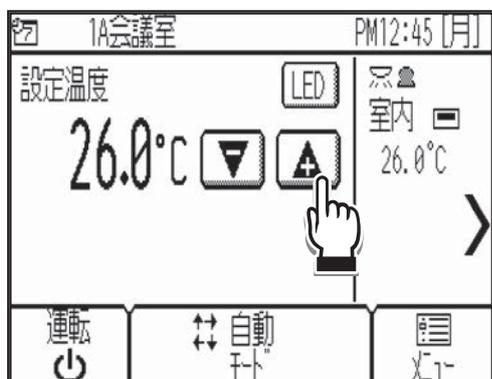
デュアルオートモードでは、冷房設定温度と暖房設定温度を設定することができます。デュアルオートモードで運転中は、室内温度に応じて室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り換え、室内温度を2つの設定温度内に保ちます。



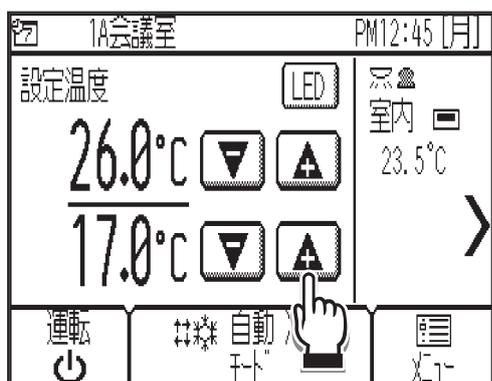
* 冷房設定温度と暖房設定温度の差 (D) の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

ボタン操作

設定温度



冷房、ドライ、暖房、または自動モード*1



デュアルオートモード*1

-  ボタンで、設定温度が上がります。
-  ボタンで、設定温度が下がります。

- 温度単位表示設定により、設定温度は 0.5°C、1°C、1°F、または 2°F 単位で増減します。(温度単位表示の切り替えについては、40 ページを参照してください。)
- 各運転モードの設定温度範囲については、19 ページの表を参照してください。
- 送風モードでは、設定温度を表示しません。

- デュアルオートモード（冷房）の設定温度は、冷房 / ドライの設定温度と共通です。
- デュアルオートモード（暖房）の設定温度は、暖房の設定温度と共通です。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
 - 冷房設定温度 > 暖房設定温度
 - 冷房設定温度 - 暖房設定温度 ≥ 最小温度差（17 ページ参照）
- ※冷房設定温度と暖房設定温度の差（D）が最小温度差未満となる操作がされた場合、最小温度差を維持するために、冷房設定温度と暖房設定温度が同時に変更されます。

*1 室内ユニットの機種により、自動モードまたはデュアルオートモードの設定温度が表示されます。

■ 設定温度範囲

運転モード	設定温度範囲
冷房 / ドライモード	19°C-30°C/67°F-87°F *1*3
暖房モード	17°C-28°C/63°F-83°F *1*3
自動モード	19°C-28°C/67°F-83°F *1*2*3
デュアルオートモード	冷房：冷房モードの設定温度範囲 暖房：暖房モードの設定温度範囲 *2*3
送風モード	設定できません。

*1 室内ユニットの機種により、設定可能な温度範囲が異なります。

詳細は、室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

*2 室内ユニットの機種により、自動モードとデュアルオートモードが切り替ります。

*3 設定温度範囲制限機能が有効のときに、制限範囲外の温度を設定した場合、「設定温度範囲制限中」のメッセージを表示します。

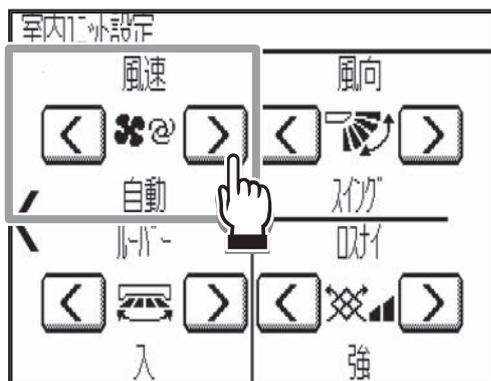
風速設定および風向設定

ON

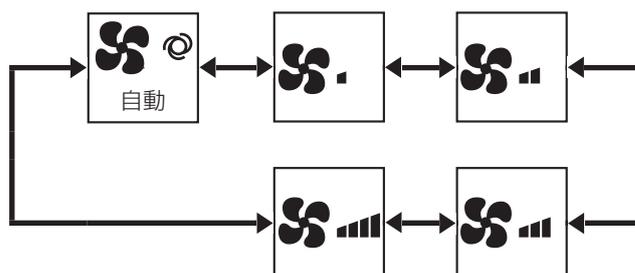


ボタン操作

風速



◀ ボタンまたは ▶ ボタンにタッチして、風速を設定します。



- 設定可能な風速は、室内ユニットの機種によって異なります。

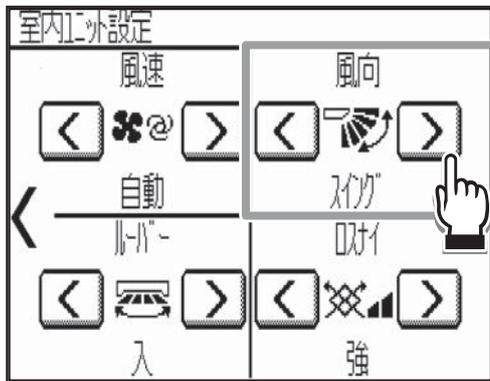
< 注意 >

以下に示すいずれかの条件に該当する場合、画面に表示している設定と実際の風速は異なります。

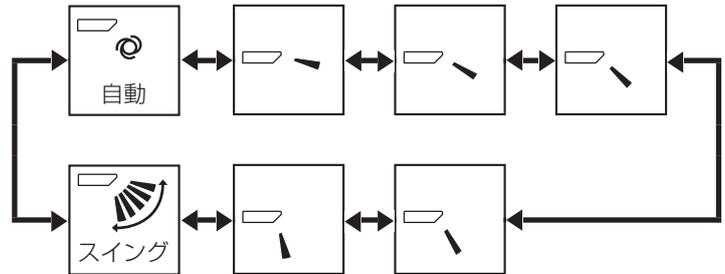
- 「準備中」または「霜取中」を表示中
- 暖房モードで、室温が設定温度よりも高い
- 暖房運転開始直後
(運転モード切替のためのスタンバイ中)
- ドライモード中

ボタン操作

風向



◀ ボタンまたは ▶ ボタンにタッチして、風向を設定します。



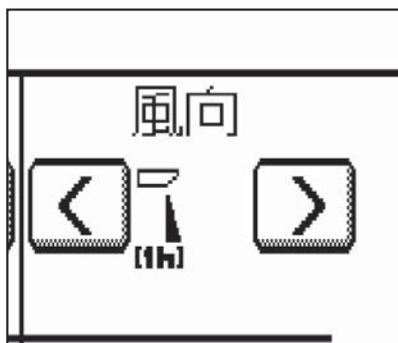
「スイング」を選択すると、自動でベーンが動きます。

- 設定可能な風向は、室内ユニットの機種によって異なります。

< 注意 >

以下に示すいずれかの条件に該当する場合、画面に表示している設定と実際の風向は異なります。

- 「準備中」または「霜取中」を表示中
- 暖房モードで、室温が設定温度よりも高い
- 暖房運転開始直後
(運転モード切替のためのスタンバイ中)



[1h] アイコン

[1h] 表示から 1 時間経過すると、[1h] 表示は消え、自動的に風向が切り換わります。

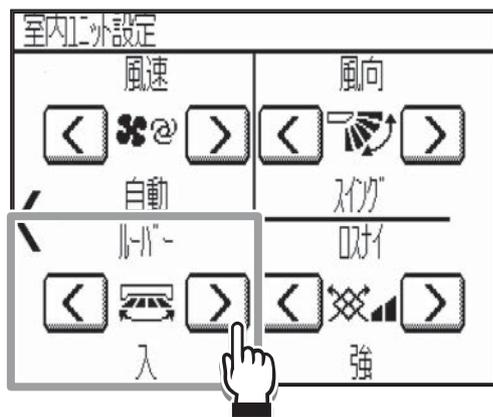
(室内ユニットの機種により異なります。)

ルーバー設定

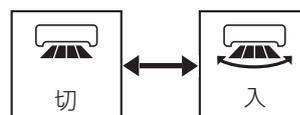
ON

ボタン操作

ルーバー



◀ ボタンまたは ▶ ボタンにタッチして、ルーバー Swing の切 / 入を切り換えます。



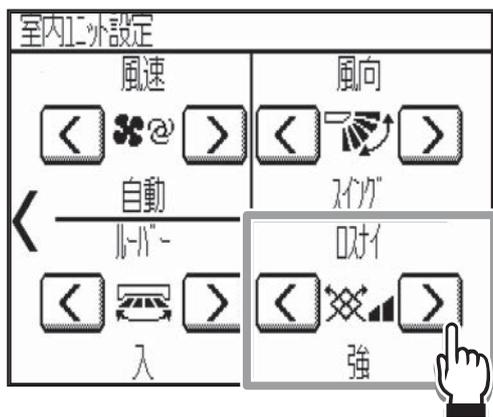
- 室内ユニットにルーバー機能がない場合、表示されません。

ロスナイ設定



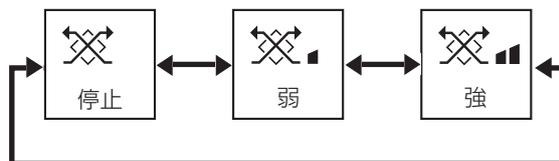
ボタン操作

ロスナイ



◀ ボタンまたは ▶ ボタンにタッチして、ロスナイの風速を設定します。

* ロスナイ連動設定をしている場合にだけ表示します。



* 室内ユニットおよびロスナイの機種により、ロスナイのみを運転した場合でも、室内ユニットのファンが動作することがあります。

メニューの選択

メニューリスト

メニュー項目		詳細内容	参照ページ	
日時設定	日時入力	現在の日時を設定します。	30	
	日時表示形式	日時表示形式を設定します。	31	
	サマータイム設定	サマータイムの開始 / 終了日時を設定します。	32	
週間スケジュール設定		1 週間の運転切り換え時刻、運転 / 停止、運転モード、および設定温度を設定します。 ■ 1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ※ 日時設定が必要です。 ※ オン / オフタイマー有効中は動作しません。	33	
タイマー設定	オン / オフタイマー	運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ※ 時刻設定が必要です。	36	
	消忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■ 設定時間は 10 分単位で 30 ~ 240 分まで設定可能です。	38	
各種設定	表示設定	言語	表示言語を設定します。 ■ 日本語と英語を設定できます。	40
		温度単位表示	温度単位表示を設定します。 ■ 0.5°C/1°C/°F を設定できます。	40
		室温表示	室温の表示 / 非表示を設定します。	40
		バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。 ■ 5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒から選択できます。	40
	音量 / コントラスト調節	音量	ブザー音量を設定します。 ■ レベル 0 (消音)、レベル 1 (小) ~ レベル 3 (大)	42
		コントラスト	液晶の濃度の調整を行います。	42
	人感省エネ設定		不在検知、照度の組み合わせによる人感省エネ制御の設定を行います。	43
	LED インジケータ		LED インジケータの設定を行います。 ■ 運転モードまたは室温に応じ、表示色を変更する設定を行います。	49
	タッチパネル補正		タッチパネルの補正を行います。	52
	操作ロック		指定した操作をロックします。 ■ 操作ロック中は指定した操作が無効となります。	53
	センサ検知レベル	人感センサ	人感センサの検知レベルを設定します。	54
		照度センサ	照度センサの明暗検知レベルを設定します。	57

メニュー項目		詳細内容	参照ページ
各種設定	設定温度範囲制限	設定温度の範囲を制限します。 ■ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	59
	設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■ 設定時間は 10 分単位で 10 ～ 120 分まで設定可能です。 ※ 設定温度範囲制限が有効のときは機能しません。	62
タッチパネル清掃		清掃時に 30 秒間タッチパネルが反応しないようにします。	65
フィルター情報		フィルターサイン発生状況を表示します。 ■ フィルターサインの解除を行います。	66
異常情報		異常が発生したときに異常内容を表示します。 ■ 異常コード、異常発生元、アドレス、電話番号を表示します。	68

パスワードについて

設定を変更する場合、パスワード入力画面を表示します。

パスワードを入力し、ログインしてください。

パスワードには次の 2 種類あります。

- メニュー（ユーザー）で使用する、ユーザーパスワード（デフォルト：0000）
- メニュー（サービス）で使用する、サービスパスワード *1

*1 サービスパスワードについては、据付工事説明書の第 2 章「初期設定」の第 2 節「メニュー（サービス）」を参照してください。

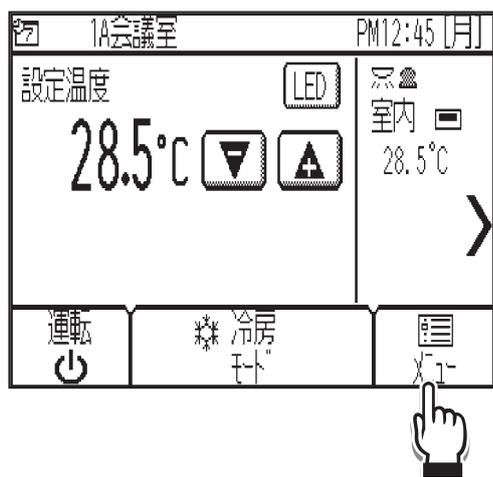
例：パスワード入力画面

パスワード入力画面のスクリーンショット。画面には「パスワード」と「Ver. **, **」が表示されています。数字のボタン（1-9, 0）と左右の矢印ボタンが配置されています。下部には「戻る」、「変更」、「OK」のボタンがあります。

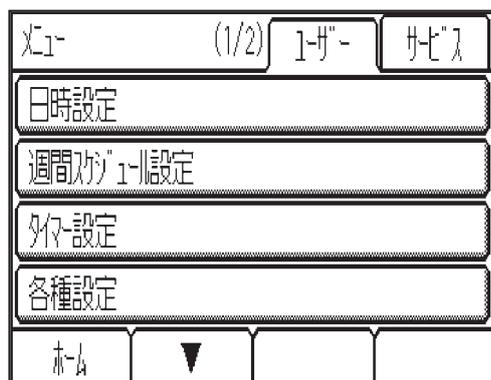
メニューの選択

ボタン操作

メニューにアクセスする



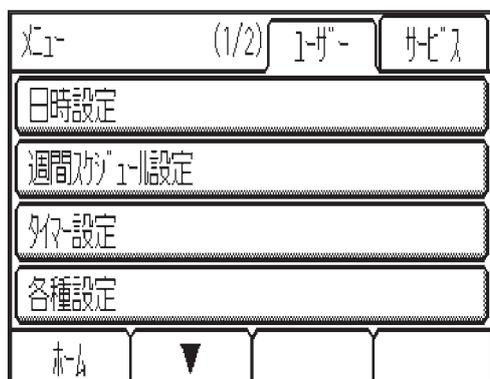
[メニュー] ボタンにタッチします。



メニュー画面を表示します。

ボタン操作

ページを選択する

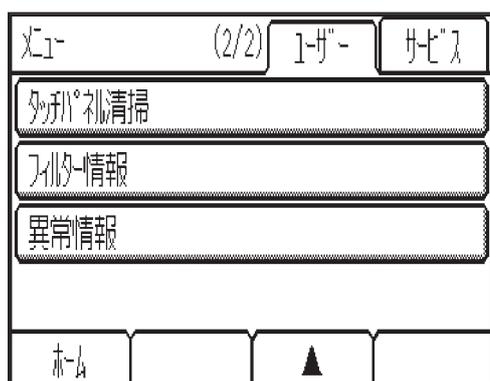


▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして、ページを切り替えます。

メニュー（サービス）画面にアクセスするには、[サービス] タブにタッチします。

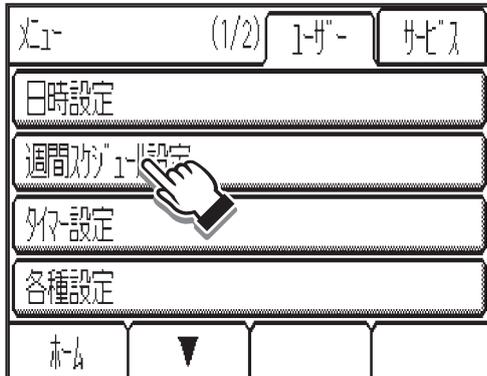
メニュー（サービス）画面にアクセスするには、サービスパスワードが必要です。

* サービスパスワードについては、据付工事説明書の第2章「初期設定」の第2節「メニュー（サービス）」を参照してください。

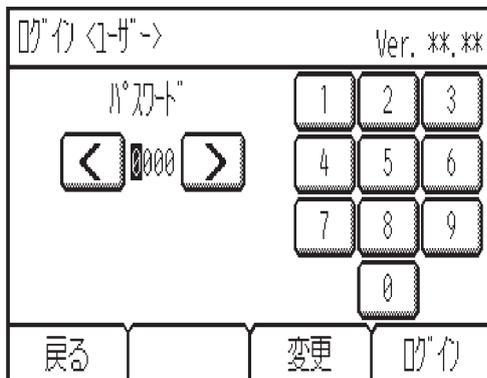


ボタン操作

項目選択

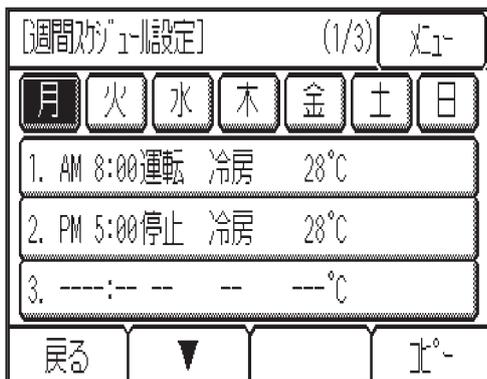


メニュー画面で、目的の項目にタッチします。



パスワード保護された項目を選択すると、パスワード入力画面を表示します。

ユーザーパスワード（デフォルト：0000）を入力してください。



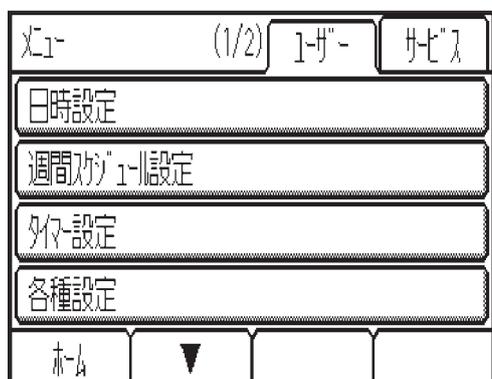
選択された項目の設定画面を表示します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

ボタン操作

ホーム画面に戻る



【ホーム】ボタンにタッチすると、ホーム画面に戻ります。

10 分間操作されない場合、画面は自動的にホーム画面に戻ります。保存していない設定はすべて破棄します。

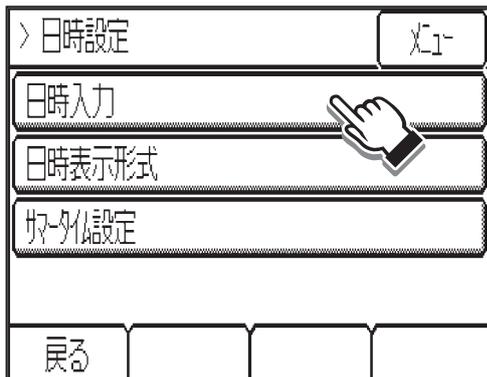
機能設定

日時設定

■ 日時入力

ボタン操作

1

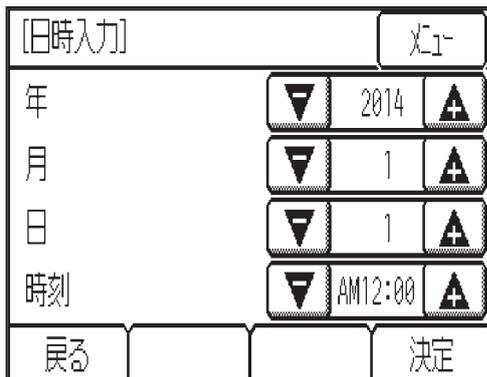


メニューから [日時設定] を選択します。
次に、リストの [日時入力] にタッチします。

以下の設定には日時設定が必要です。

- 週間スケジュール設定
- オン/オフタイマー設定
- 人感省エネ設定無効スケジュール
- サマータイム設定

2



▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして、現在の年月日と時刻を設定します。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

■ 日時表示形式

ボタン操作

1

> 日時設定	メニュー
日時入力	
日時表示形式	
タイムゾーン設定	
戻る	

メニューから【日時設定】を選択します。
次に、リストの【日時表示形式】にタッチします。

2

【日時表示形式】	メニュー
日付フォーマット	2014/12/31
時刻フォーマット	PM 6:00
戻る	決定

日時表示形式の選択ボタンにタッチします。

【決定】ボタンにタッチして、設定を保存します。

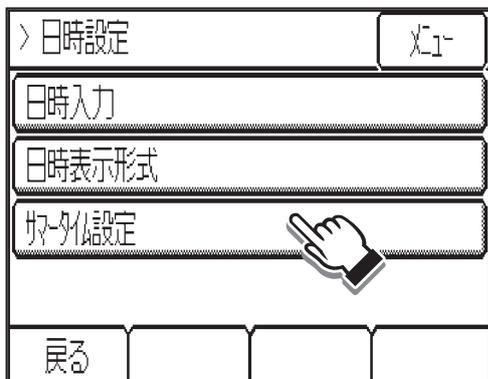
画面移動方法

- 【メニュー】ボタン：メニュー画面に戻る
- 【戻る】ボタン：前の画面に戻る

■ サマータイム設定

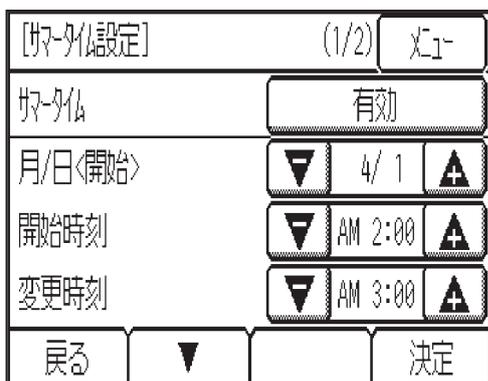
ボタン操作

1



メニューから [日時設定] を選択します。
次に、リストの [サマータイム設定] にタッチします。

2



デフォルト設定は、「無効」です。
サマータイム設定を有効にするには、[無効] にタッチして、[有効] に切り替えます。

ボタンまたは ボタンにタッチして、次の項目を設定します。

- 月/日 < 開始 >
- 開始時刻
- 変更時刻
- 月/日 < 終了 > (2 ページ目)
- 終了時刻 (2 ページ目)
- 変更時刻 (2 ページ目)

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。



画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

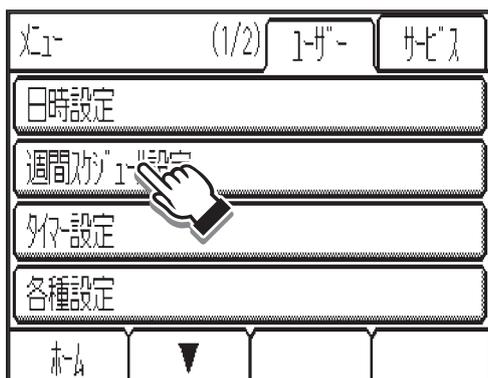
週間スケジュール設定

P

曜日により、運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転/停止、運転モード、設定温度をスケジュール設定します。設定が重複した場合、オン/オフタイマーが優先されます。

<スケジュールを設定する>

1

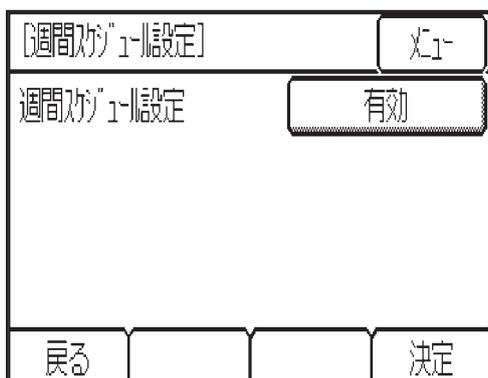


メニューから [週間スケジュール設定] を選択します。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。

週間スケジュール無効中 / オン / オフタイマー有効中 / 異常中 / 試運転中 / 日時未設定 / 集中管理中 ([運転 / 停止、運転モード、設定温度] で禁止されている項目、またはタイマー実行禁止中)

2

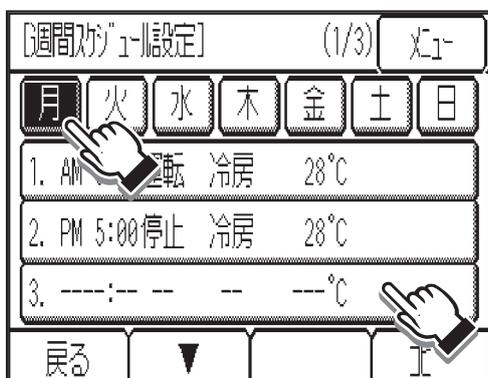


デフォルト設定は、「無効」です。

週間スケジュール設定機能を有効にするには、[無効] にタッチして、[有効] に切り替えます。

[決定] ボタンにタッチすると、設定画面に移行します。

3



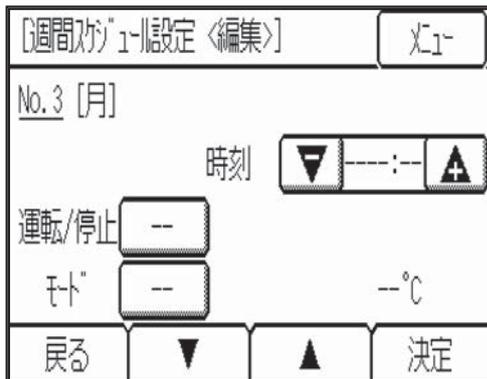
現在の設定内容が表示されます。

曜日ボタンにタッチして、その日のスケジュール設定を表示します。

各曜日に対して、8 つまでの運転パターンを設定することができます。パターン 4 から 8 までを表示するには、▼ ボタンにタッチします。

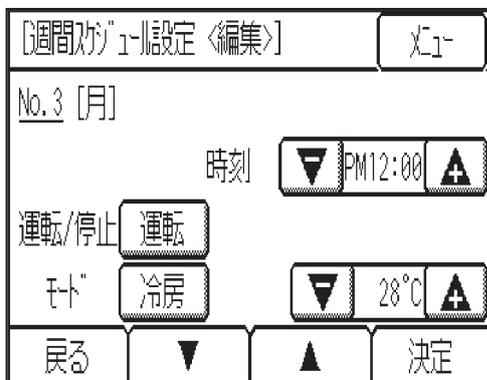
変更したいパターンの列にタッチします。

4



選択したパターンの現在の設定を表示します。

5



冷房、ドライ、送風、暖房、または自動モード

次の項目を設定します。

- 時刻
 - * 時刻は、5分単位に設定可能です。
 - * ▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチし続けると、数値を早送りできます。
- 運転 / 停止
- モード^{*1*2}
- 温度^{*1*3}



デュアルオートモード

- *1 設定可能運転モードおよび温度範囲は、室内ユニットの機種によって異なります。
- *2 室内ユニットの設定によっては、「自動」を選択するとデュアルオートモードの設定画面を表示します。
- *3 デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
 - 冷房設定温度 > 暖房設定温度
 - 冷房設定温度 - 暖房設定温度 ≥ 最小温度差 (17ページ参照)
 ※冷房設定温度と暖房設定温度の差 (D) が最小温度差未満となる操作がされた場合、最小温度差を維持するために、冷房設定温度と暖房設定温度が同時に変更されます。

他のパターンを続けて設定するには、▼ ボタンにタッチして設定画面を切り換えます。

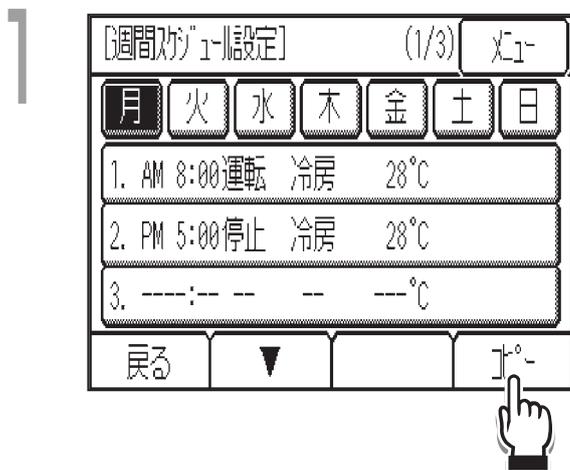
設定完了後に [決定] ボタンをタッチすると、確認画面が表示されます。

[OK] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

<スケジュールをコピーする>



ある曜日のスケジュール設定を他の曜日にコピーするには、[コピー] ボタンにタッチします。



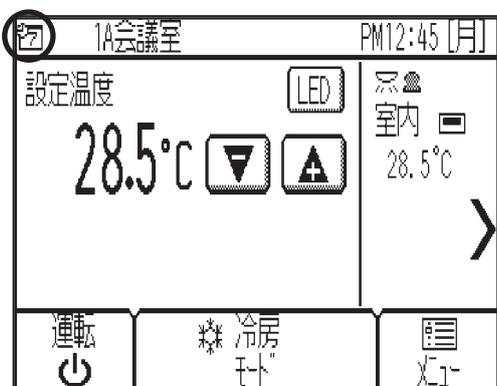
スケジュール設定のコピー元の曜日とコピー先の曜日(複数可) にタッチします。

設定完了後に [決定] ボタンをタッチすると、確認画面が表示されます。

[OK] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る



当日実行するスケジュール設定があるとき、ホーム画面に  を表示します。

ただし、オン/オフタイマー有効中、または集中管理中(タイマー実行禁止中)、 は表示されません。

また、集中管理中(タイマー実行禁止中)は  を表示します。

タイマー設定

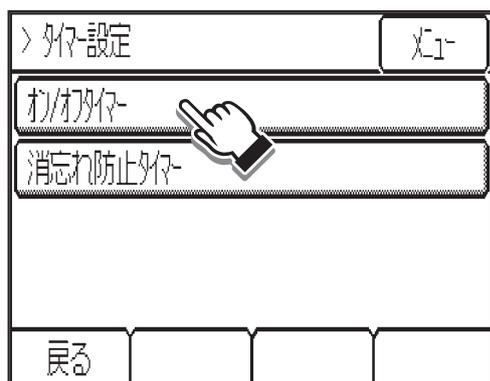


■ オン / オフタイマー

毎日同じ時間に運転 / 停止する場合(繰返し)や、当日だけ運転 / 停止する場合(1 回のみ)に設定します。運転 / 停止それぞれ 1 回ずつ設定できます。

ボタン操作

1

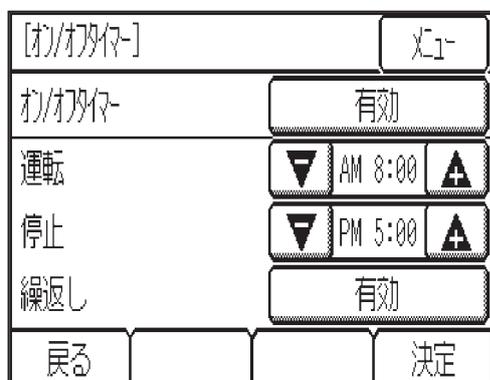


メニューから [タイマー設定] を選択します。
次に、リストの [オン / オフタイマー] にタッチします。

以下の場合、オン / オフタイマーは実行されません。

オン / オフタイマー無効中 / 異常中 / 試運転中 / 日時未設定 / 集中管理中 (運転 / 停止またはタイマー実行が禁止されている場合)

2



オン / オフタイマーを有効にするには、[無効] にタッチして、[有効] に切り替えます。

ボタンまたは ボタンにタッチして、[運転] 時間および [停止] 時間を設定します。

* 時刻は、5 分単位で設定可能です。

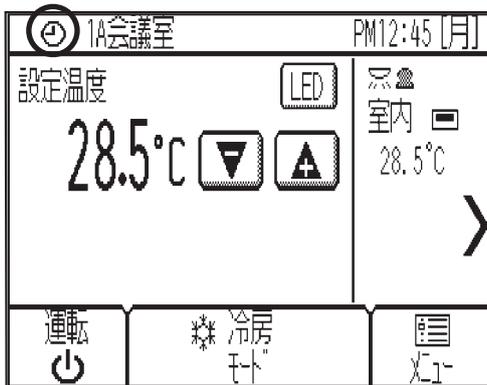
* ボタンまたは ボタンにタッチし続けると、数値を早送りできます。

オン / オフタイマーを毎日繰返すように設定するには、[繰返し] 設定を [有効] に設定します。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る



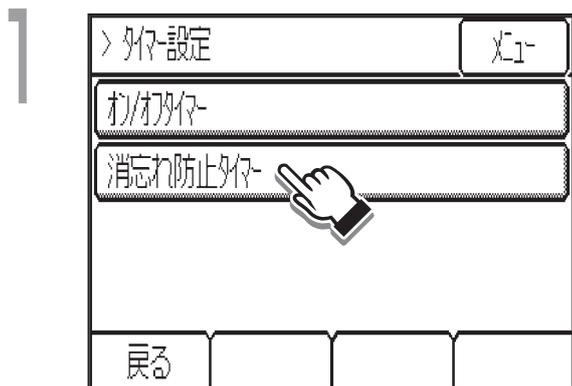
オン/オフタイマー設定が有効なときに、ホーム画面に
🕒 を表示します。

集中管理中（タイマー実行禁止中）、🕒 は表示されませ
ん。🚫 を表示します。

■ 消忘れ防止タイマー

指定された時間が経過した後に室内ユニットを停止する消忘れ防止タイマーを設定することができます。

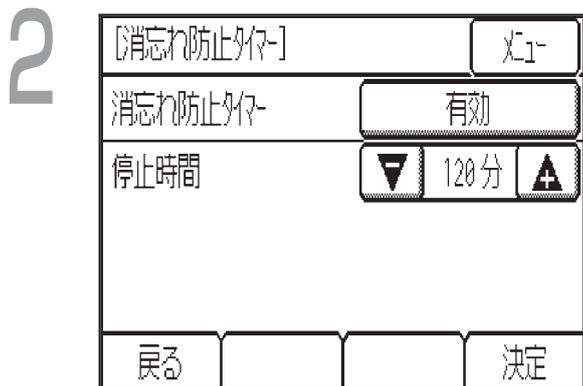
ボタン操作



メニューから [**タイマー設定**] を選択します。
次に、リストの [**消忘れ防止タイマー**] にタッチします。

次の場合、消忘れ防止タイマーは実行されません。

消忘れ防止タイマー無効中 / 異常中 / 試運転中 / 集中管理中 (運転 / 停止またはタイマー実行が禁止されている場合)



消忘れ防止タイマーを有効にするには、[**無効**] にタッチして、[**有効**] に切り替えます。

 ボタンまたは  ボタンにタッチして、[**停止時間**] を設定します。

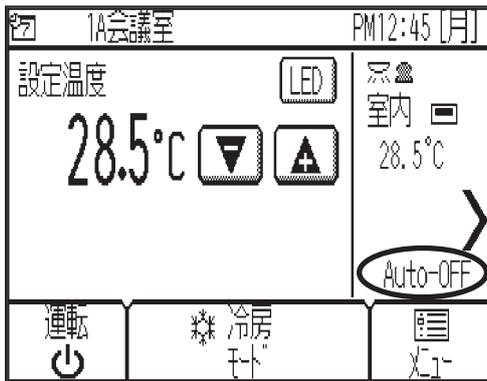
* 室内ユニットが自動的に停止するまでの時間を設定します。設定可能範囲は、30分から240分で、10分単位です。

*  ボタンまたは  ボタンにタッチし続けると、数値を早送りできます。

[**決定**] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [**メニュー**] ボタン：メニュー画面に戻る
- [**戻る**] ボタン：前の画面に戻る



消忘れ防止タイマー設定が有効なときに、ホーム画面に「Auto-OFF」が表示されます。
集中管理中（タイマー実行禁止中）は、表示されません。

表示設定



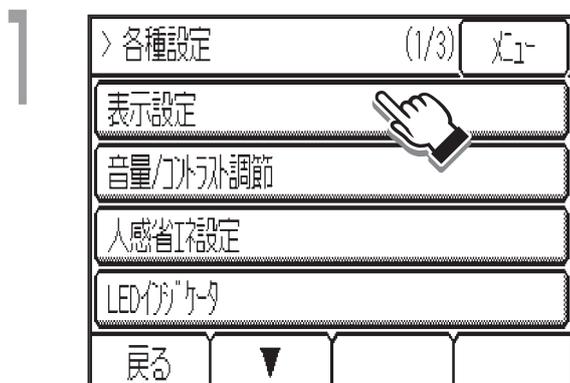
■ 言語

■ 温度単位表示

■ 室温表示

■ バックライト点灯時間

ボタン操作



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [表示設定] にタッチします。



言語

表示言語を設定します。
日本語と英語が選択可能です。

温度単位表示

表示する温度単位を設定します。
°C (0.5°C 単位)、1°C (1°C 単位)、および °F から選
択可能です。

* 室内ユニットの機種により、設定できない温度単位は
表示されません。

[表示設定]	(2/2)	メニュー
室温表示		表示
バックライト点灯時間		30秒
戻る		▲ 決定

室温表示

ホーム画面での室温表示を設定します。

- 表示：ホーム画面に室温を表示します。
- 非表示：ホーム画面に室温を表示しません。

バックライト点灯時間

バックライトの点灯時間を設定します。

5、10、20、30 および 60 秒から選択可能です。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

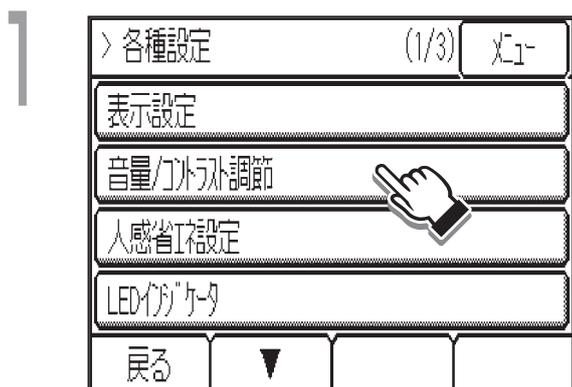
音量 / コントラスト調節



■ 音量

■ コントラスト

ボタン操作



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [音量 / コントラスト] にタッチします。



音量

画面にタッチされたときに鳴るブザーの音量を設定します。

- レベル 0-3 (レベル 0 : 消音)

コントラスト

-10 から +10 までの間で、表示コントラストを設定します。

値が大きいほど、コントラストが濃くなります。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

人感省エネ設定



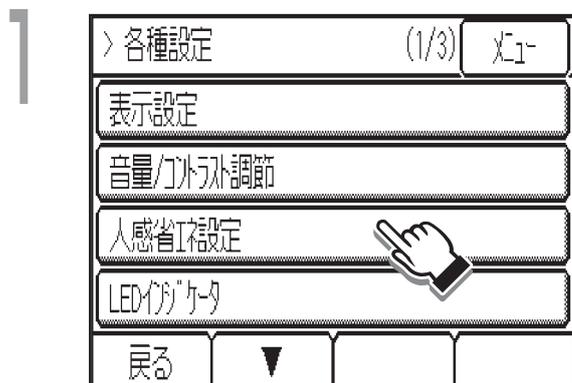
室内ユニット運転中に人の不在を検知した場合、人感省エネ制御機能を実行します。（この機能のデフォルト設定は、「未使用」です。）

■ 人感省エネ制御モードの設定

次の人感省エネ制御モードを選択することができます。

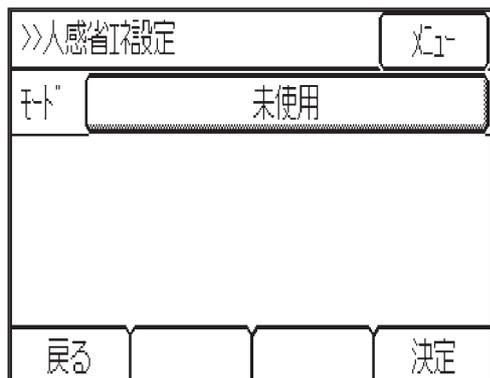
人感省エネ制御モード	人の不在を検知時の制御
未使用	-
運転 / 停止	室内ユニットを停止します。
設定温度スライド	設定温度を省エネ側に変更します。
風量ダウン	風速を「低」に設定します。
サーモオフ	空調機をサーモオフ状態にします。

ボタン操作



メニューの【各種設定】にタッチします。
次に、リストの【人感省エネ設定】にタッチします。

2



[モード] ボタンにタッチして、人感省エネ制御モードを選択します。

デフォルト設定は、「未使用」です。

- 未使用：人感省エネ制御機能を無効にします。
- サーモオフ *1：空調機をサーモオフ状態にします。
- 設定温度スライド *1*2：設定温度を省エネ側に変更します。
- 風量ダウン *3：風速を「低」に設定します。
- 運転 / 停止：室内ユニットを停止します。

*1 本機の人感省エネ制御機能と同時に他のシステムコントローラの省エネ機能を使用する場合は、「サーモオフ」や「設定温度スライド」を選択しないでください。

*2 室内ユニットが送風モードで運転している場合、または集中コントローラから設定温度の変更が禁止されている場合、設定温度はスライドしません。

*3 接続された室内ユニットに風速調整機能がない場合、この項目は表示されません。

人感省エネ制御中に人感センサが人の存在を検知したときは、人感省エネ制御前の運転状態に復帰します。

ただし、他のコントローラ操作、スケジュール設定、タイマー設定によって運転状態が変更された場合、人感センサが人の存在を検知しても、現在の運転状態を維持します。

< 注意 >

- 主リモコンと従リモコンが設置されるシステムで人感省エネ制御機能を使用する場合、人感センサの検知エリアが広い方のリモコンのみ、本機能を設定してください。

3

>>人感省エネ設定		X1-	
モード	設定温度スライド		
スライド値	▼	2°C	▲
不在判定タイマー	▼	0:10	▲
検知レベル	▼	0	▲
戻る		オプション	決定

▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして、次の項目を設定します。

- スライド値（「設定温度スライド」モードを選択しているときのみ表示）

* 人の不在時に設定温度からスライドする温度を設定します。設定可能範囲は、1°C (2°F) から 4°C (8°F) です。

- 不在判定タイマー

* 設定した時間、人感センサが人の動きを検知しない場合、人感省エネ制御を行います。設定可能範囲は、0:00 から 24:00 です。

- 検知レベル

* 設置環境に応じて、人感センサの検知感度レベルを調整します。（通常使用での推奨設定：レベル 0）検知レベルが高いほど、人の動きを検知する感度が高くなります。設定可能レベルは、-2、-1、0、1、および 2 です。

* 検知レベルを高く設定すると、ノイズによる誤検知をする可能性が高くなります。

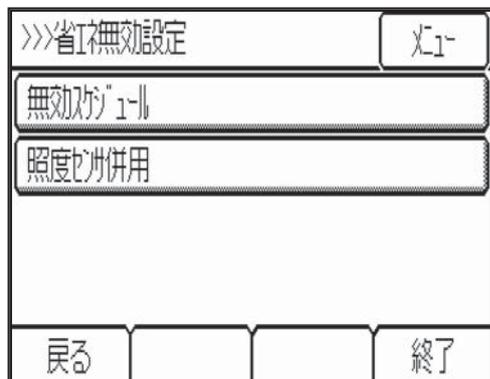
省エネ無効設定（オプション設定）により、人感省エネ制御機能の無効スケジュールを設定できます。また、照度センサが「明」あるいは「暗」を検知したときに、人感省エネ制御機能を無効にする設定を行うことができます。（詳細については、46 ページを参照してください。）

設定を完了し、省エネ無効設定を行う必要がない場合は、**[決定]** ボタンにタッチして設定を保存します。

省エネ無効設定を行う場合は、**[オプション]** ボタンをタッチします。

■ 省エネ無効設定（オプション設定）

ボタン操作



省エネ無効設定では、人感省エネ制御機能の無効スケジュールを設定できます。また、照度センサが「明」あるいは「暗」を検知したときに、人感省エネ制御機能を無効にする設定を行うことができます。

無効スケジュールを設定するには、リストの【**無効スケジュール**】にタッチします。（47 ページの手順 2 を参照してください。）

照度センサの検知条件を設定するには、リストの【**照度センサ併用**】にタッチします。（47 ページの手順 3 を参照してください。）

無効スケジュールと照度センサ併用設定は、組み合わせて設定できます。いずれかの条件が満たされた場合に、人感省エネ制御機能は無効化されます。

2

無効スケジュール

人感省エネ制御機能を無効にする曜日と時間を設定します。

ある曜日の設定を、他の曜日の設定にコピーすることができます。

設定の詳細は、週間スケジュール設定と同じです。詳細は、33 ページを参照してください。

* 本機能を 1 日中無効とするには、「AM12:00 → AM12:00」のように設定します。

3

照度センサ併用

人感省エネ制御に対して照度センサを使用するには、[無効] にタッチして、[有効] に切り替えます。

[人感センサ無効条件] ボタンにタッチして、[照度:明] または [照度:暗] を選択します。

- 「照度:明」: 人の不在時に照度センサが「明」を検知した場合、人感省エネ制御機能は無効化されます。
- 「照度:暗」: 人の不在時に照度センサが「暗」を検知した場合、人感省エネ制御機能は無効化されます。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

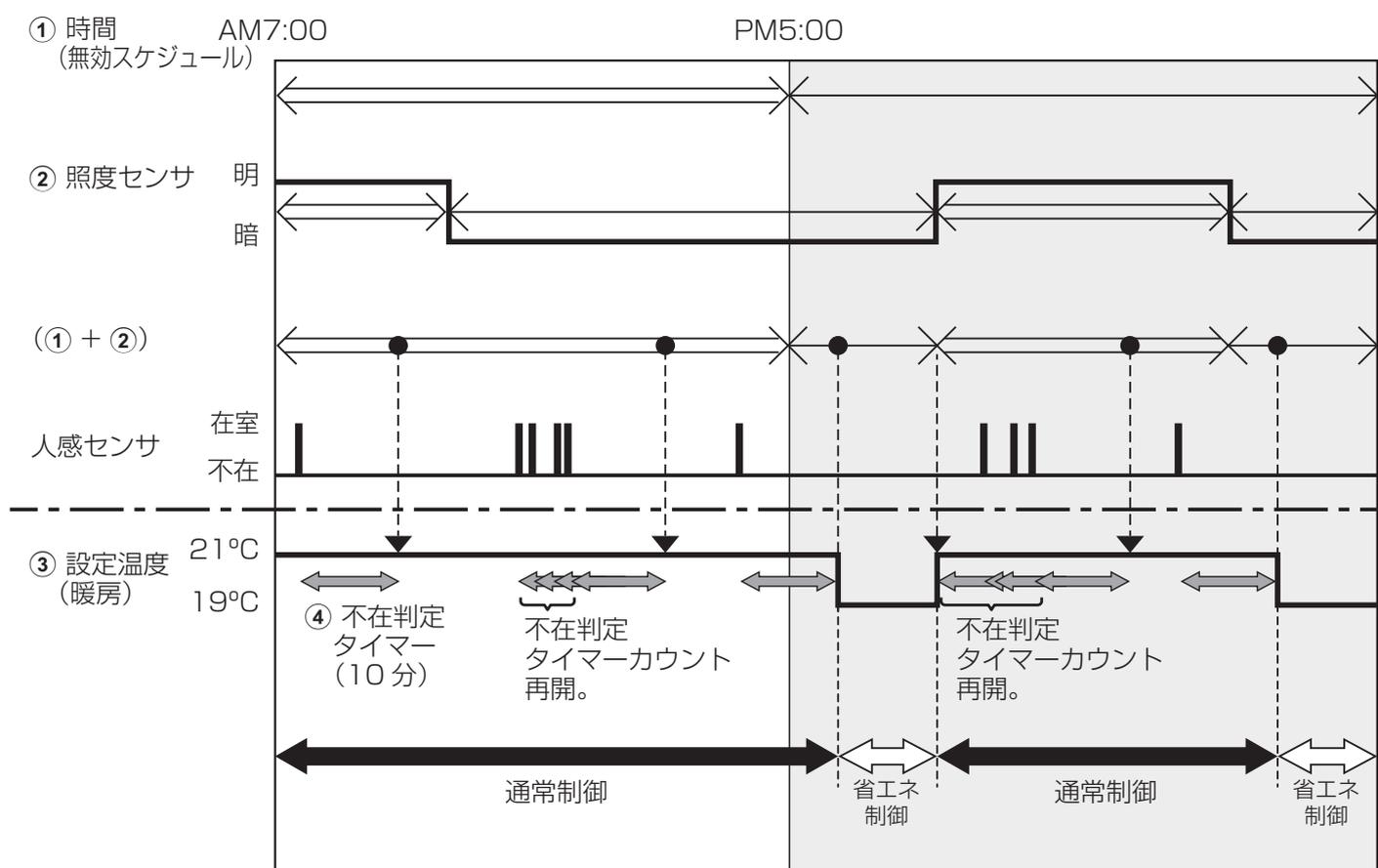
人感省エネ制御	照度センサ併用		人感省エネ制御実行条件
	照度センサ	人感センサ無効条件	
する	有効	照度:明	人が不在、部屋が暗い
		照度:暗	人が不在、部屋が明るい
	無効	—	人が不在
しない	—	—	—

画面移動方法

- [メニュー] ボタン: メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン: 前の画面に戻る

人感省エネ制御機能の設定例

設定項目		設定例
省エネ無効設定 (オプション設定)	無効スケジュール	① AM7:00 → PM5:00
	照度センサ併用	② 照度：明
省エネ制御モード		③ 設定温度スライド (スライド値：2°C)
不在判定タイマー		④ 0:10 (10分)



⇔ 不在が検知されても省エネ制御が行えない期間

⇐ 不在が検知されたときに省エネ制御が行える期間

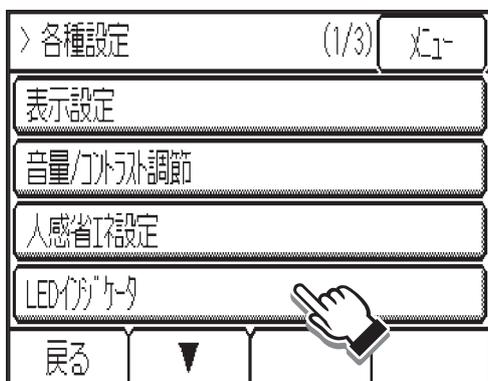
- ▼ **[省エネ無効設定]** の項目が設定されているため、人感センサが不在を検知したとしても、該当時間中、人感省エネ制御は行われません。

LED インジケータ



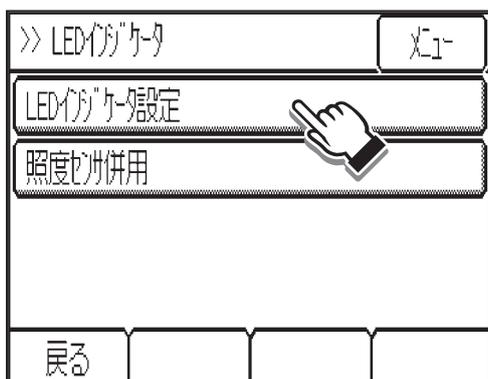
ボタン操作

1



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [LED インジケータ] にタッチします。

2



次に、リストの [LED インジケータ設定] にタッチします。

3

[LEDインジケータ設定] (1/4) X1-	
基本表示モード	モード
輝度	高輝度
戻る	決定

[LEDインジケータ設定] (2/4) X1-	
省エネ中の色	黄緑
人感検知表示	有効
戻る	決定

[LEDインジケータ設定] (3/4) X1-	
モード	色
冷房	青
ドライ	水色
送風	黄
戻る	決定

[LEDインジケータ設定] (3/3) X1-	
室内温度範囲	色
0.0°C - 21.0°C	青
21.5°C - 26.5°C	黄
27.0°C - 40.0°C	赤
戻る	決定

【基本表示モード】のデフォルト設定は、「モード」です。「モード」、「室内温度」、「未使用」から選択することができます。

「モード」および「室内温度」に共通の設定項目

- 輝度
 - * 「高輝度」または「低輝度」を選択します。
 - * 本設定は、「照度センサ併用」設定（51 ページを参照）が無効の場合にだけ有効です。
- 省エネ中の色（2 ページ目）
 - * 省エネ制御中に使用したい色を選択します。デフォルト設定は「緑」です。
- 人感検知表示（2 ページ目）
 - * 「有効」または「無効」を選択します。「有効」を選択すると、人感センサが人の存在を検知したときに、LED インジケータが 30 秒毎に点滅します。

「モード」に固有の設定項目

- モード色（3 ページ目および 4 ページ目）
 - * 各運転モードに対して使用したい LED 色を選択します。デフォルト設定は全運転モード「緑」です。

「室内温度」に固有の設定項目

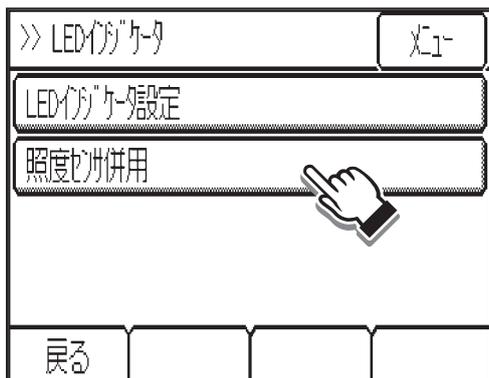
- 室内温度範囲および LED 色（3 ページ目）
 - * 低温、中温、高温の温度範囲に対して使用したい LED 色を設定します。温度範囲の変更も可能です。

【決定】ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

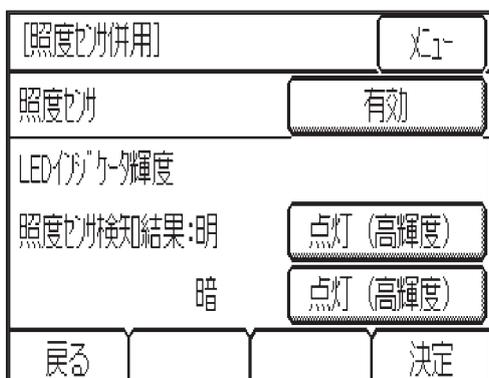
- 【メニュー】ボタン：メニュー画面に戻る
- 【戻る】ボタン：前の画面に戻る

4



照度センサが「明」または「暗」を検知したときに使用する LED インジケータの輝度レベルを設定するには、リストの [照度センサ併用] をタッチします。

5



LED インジケータの輝度切り換えに照度センサを使用するには、[無効] にタッチして、[有効] に切り替えます。

次の項目を設定します。

- 照度センサ検知結果：明
 - * 照度センサが「明」を検知したときに使用する LED インジケータの輝度レベルを選択します。
「点灯 (高輝度)」、「点灯 (低輝度)」、または「消灯」を選択します。
- 照度センサ検知結果：暗
 - * 照度センサが「暗」を検知したときに使用する LED インジケータの輝度レベルを選択します。
「点灯 (高輝度)」、「点灯 (低輝度)」、または「消灯」を選択します。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

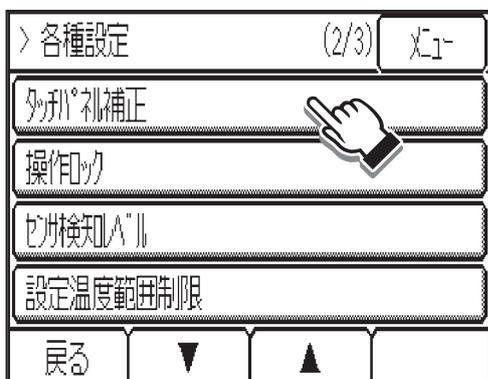
- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

タッチパネル補正



ボタン操作

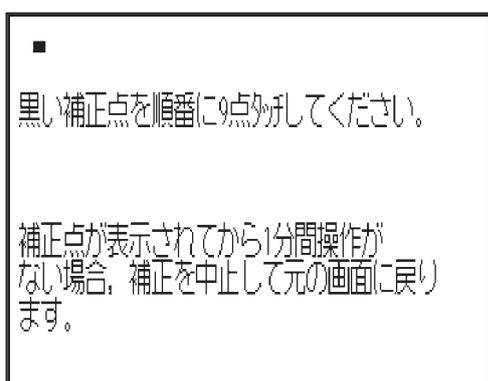
1



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [タッチパネル補正] にタッチします。

確認画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。

2



左上から表示される黒い補正点を、順番に9点タッチしてください。
9つの補正点すべてにタッチすると補正が完了し、前の画面に戻ります。

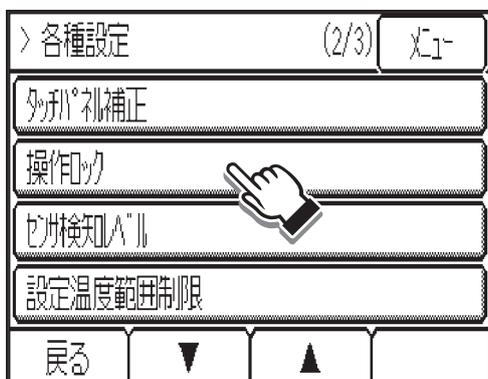
- 1分間、無操作状態が続くと、補正はキャンセルされ、前の画面に戻ります。
- タッチパネル補正を適切に行うため、先の尖っていない細いもので補正点をタッチしてください。
* 鋭利なものを使用するとタッチパネルに傷がつくことがあります。

操作ロック



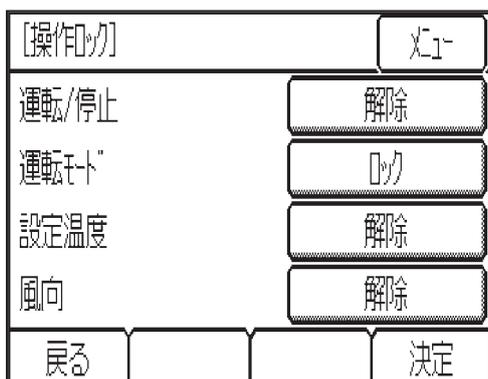
ボタン操作

1



メニューの **[各種設定]** にタッチします。
次に、リストの **[操作ロック]** にタッチします。

2



次の項目をロックするには、**[解除]** にタッチして、**[ロック]** に変更します。

- 運転 / 停止
- 運転モード
- 設定温度
- 風向

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- **[メニュー]** ボタン：メニュー画面に戻る
- **[戻る]** ボタン：前の画面に戻る



ホーム画面上の操作ロックされているボタンに、 が表示されます。

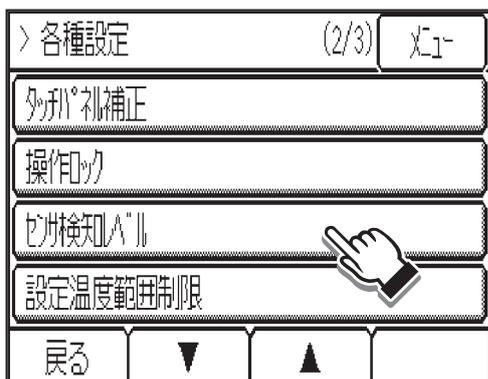
センサ検知レベル



■ 人感センサ

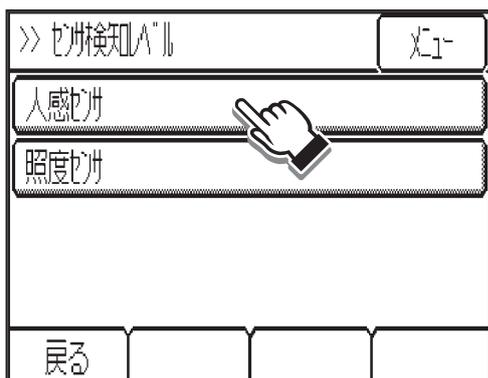
ボタン操作

1



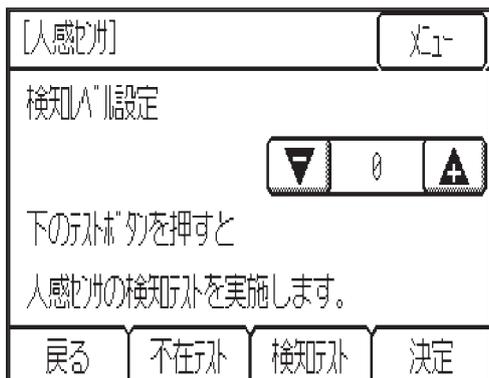
メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [センサ検知レベル] にタッチします。

2



人感センサの検知感度レベルを設定するには、リストの [人感センサ] にタッチします。

3



▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして、人感センサの検知感度レベルを設定します。

- レベル：-2、-1、0（デフォルト）、1、2

* ここで指定する検知レベル設定は、「省エネ設定」画面の検知レベル設定にも適用されます。

検知レベルが高いほど、人の動きを検知する感度が高くなります。

通常設置環境ではデフォルト設定でご使用ください。人感センサが過剰検知する場合、または反応しない場合は、検知感度レベルを調整します。

下記のテストで、検知感度を適切なレベルに調整できます：
不在テストおよび検知テスト。

検知感度レベルを高く設定すると、ノイズによる誤検知をする可能性が高くなります。

[決定] ボタンにタッチして、設定を保存します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

センサ検知感度テストを行う

不在テスト

[不在テスト]	戻る
この部屋を誰もいない状態にしてください。 このテストは1分かかります。 10秒後にテストを開始します。	
戻る	

[不在テスト] ボタンにタッチして、テストを開始します。

10秒後、不在検知テストが自動的に始まります。

このテストは、ノイズによる誤検知の確認を行うことができます。

ボタンにタッチした後、10秒以内に部屋を退出し、テストが完了するまでの1分間、部屋を不在の状態にします。

テストが完了すると、LEDインジケータの表示色で結果が示されます。

- ・青：正常（センサは、ノイズの干渉無く、不在を適切に検知しています。）
- ・赤：異常（センサは、ノイズにより、人の存在を誤って検知しています。）

センサが適切に不在を検知できない場合は、検知感度レベルを下げ、もう一度試してみてください。

検知テスト

[検知テスト]	戻る
人の動きを検知すると、LEDが点灯します。 検知したいエリア内を歩行し、LEDの反応を確認してください。反応しない場合は、検知レベルを上げて再度テストを実施してください。	
戻る	

[検知テスト] ボタンにタッチして、テストを開始します。

人の挙動を検知すると、LEDインジケータが青で点灯します。

在人を検知したい場所で動いて、適切な反応が得られるか確認してください。

センサが反応しない場合は、検知感度レベルを上げ、もう一度テストを実施してください。

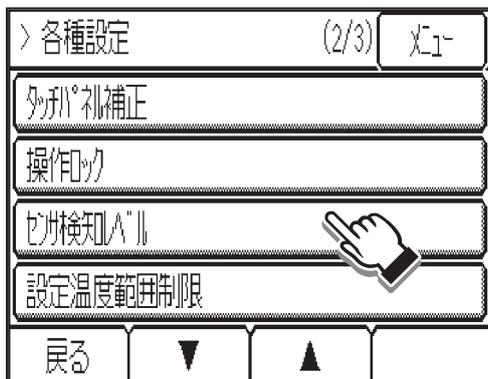
センサが検知する範囲は次のとおりです：水平方向110°の角度、および10メートルの距離。人感センサが誤検知しやすい条件があります。

据付工事説明書の第1章の「据付方法」を参照してください。

■ 照度センサ

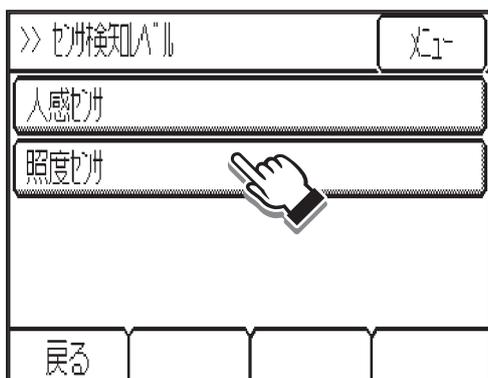
ボタン操作

1



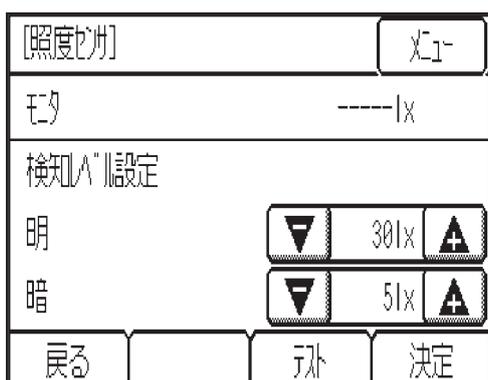
メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [センサ検知レベル] にタッチします。

2



照度センサの検知レベルを設定するには、リストの [照度センサ] にタッチします。

3



「暗」状態および「明」状態を決定する検知レベルを設定できます。

照度センサの検知結果は、省エネ制御および LED インジケータ制御のパラメータとして使用します。

設置環境に適した値を設定します。

設置環境の明るさを変更（カーテンを引くなど）して、検知レベルを調整してください。

値を設定したら、[決定] ボタンをタッチします。

画面移動方法

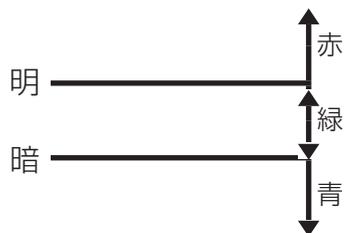
- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

.....

テストを行う

[テスト] ボタンをタッチすると、画面上の「モニタ」の横に、該当の空間の現在の照度が表示されます。

設置環境の照度状態が LED インジケータに色で表示されます。

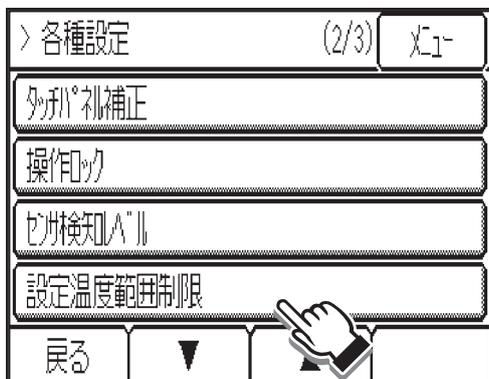


設定温度範囲制限



ボタン操作

1



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [設定温度範囲制限] にタッチします。

2

[設定温度範囲制限]	(1/2)	X-1-
設定温度範囲制限	有効	
自動：上限値	▼ 26 °C ▲	
下限値	▼ 24 °C ▲	
戻る	▼	決定

[設定温度範囲制限]	(2/2)	X-1-
冷房：上限値	▼ 28 °C ▲	
下限値	▼ 25 °C ▲	
暖房：上限値	▼ 25 °C ▲	
下限値	▼ 19 °C ▲	
戻る	▲	決定

デフォルト設定は、「無効」です。

自動、冷房（ドライ）、および暖房モードの設定温度範囲制限を設定するには、[無効]にタッチして、[有効]に変更します。

各運転モードの上限温度および下限温度を、▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして設定します。（温度は、1°C または 1°F 単位で増減します。）

上限温度と下限温度の設定可能範囲

運転モード	下限	上限
自動 *1	19° C ~ 28° C (67° F ~ 83° F)	28° C ~ 19° C (83° F ~ 67° F)
冷房 *2*4	19° C ~ 30° C (67° F ~ 87° F)	30° C ~ 19° C (87° F ~ 67° F)
暖房 *3*4	17° C ~ 28° C (63° F ~ 83° F)	28° C ~ 17° C (83° F ~ 63° F)

※設定可能な運転モードおよび温度範囲は、接続されるユニットによって異なります。

*1 自動モードの設定温度を制限できます。

*2 冷房・ドライ・デュアルオートモード（冷房）の設定温度を制限できます。

*3 暖房・デュアルオートモード（暖房）の設定温度を制限できます。

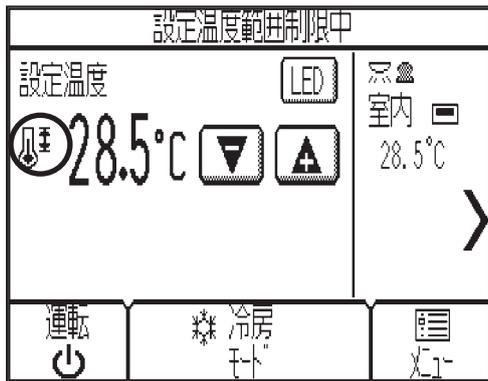
*4 冷房・ドライ・デュアルオートモード（冷房）と暖房・デュアルオートモード（暖房）の設定は、以下の条件で設定が可能です。

- 冷房上限設定－暖房上限設定 ≥ 最小温度差（17 ページ参照）
- 冷房下限設定－暖房下限設定 ≥ 最小温度差（17 ページ参照）

設定が完了したら、[決定] ボタンにタッチします。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る



設定温度範囲制限が有効の場合、ホーム画面に  を表示します。

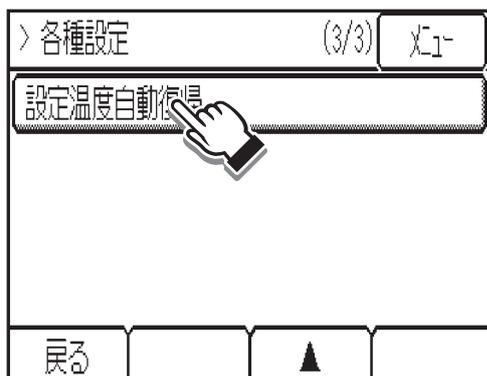
設定温度自動復帰



設定時間後に、設定した温度に戻ります。

ボタン操作

1



メニューの [各種設定] にタッチします。
次に、リストの [設定温度自動復帰] にタッチします。

2

[設定温度自動復帰] (1/2) X1-	
設定温度自動復帰	有効
次のページで詳細設定して下さい。	
戻る	決定
[設定温度自動復帰] (2/2) X1-	
冷房：復帰時間	▼ 60分 ▲
復帰温度	▼ 28°C ▲
暖房：復帰時間	▼ 60分 ▲
復帰温度	▼ 20°C ▲
戻る	決定

デフォルト設定は、「無効」です。

設定温度自動復帰機能を有効にするには、[無効]にタッチして、[有効]に切り替えます。

▼ ボタンまたは ▲ ボタンにタッチして、時間と復帰後温度を設定します。

■ 冷房時

- * 時間の設定範囲：10分～120分
(10分単位)
- * 温度の設定範囲：19°C～35°C (67°F～95°F)
(1°C単位 (1°F単位))
- * 「冷房時」には、「ドライ」および「自動冷房」モードを含みます。

■ 暖房時

- * 時間の設定範囲：10分～120分
(10分単位)
- * 温度の設定範囲：5°C～28°C (40°F～83°F)
(1°C単位 (1°F単位))
- * 「暖房時」には、「自動暖房」モードを含みます。

設定が完了したら、[決定] ボタンにタッチします。

画面移動方法

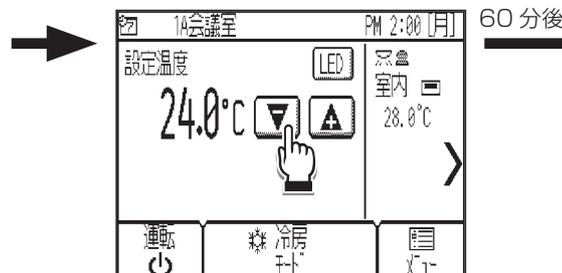
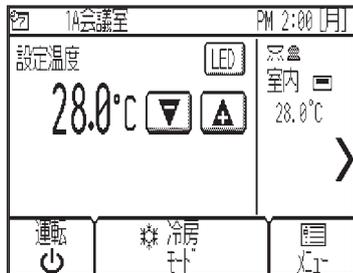
- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る

設定温度自動復帰機能は、設定温度範囲制限が有効中、および集中管理中（設定温度またはタイマー実行禁止中）は、実行されません。

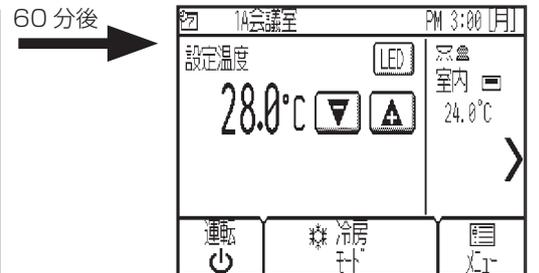
< 設定温度自動復帰機能が有効な場合の画面例 >

例：設定条件

■ 冷房、設定時間：60分、復帰後温度：28°C (83°F)



設定温度を、手動で、28°C (83°F) から 24°C (75°F) に変更します。



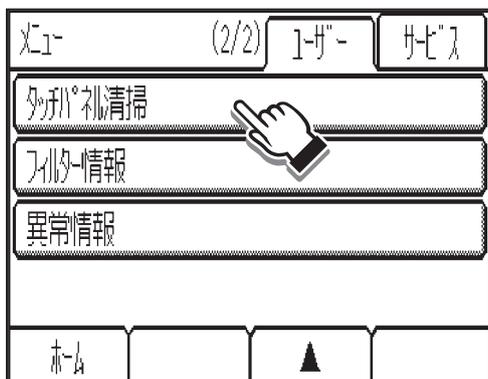
60分後、設定温度は自動的に28°C (83°F) になります。

メンテナンス

タッチパネル清掃

ボタン操作

1

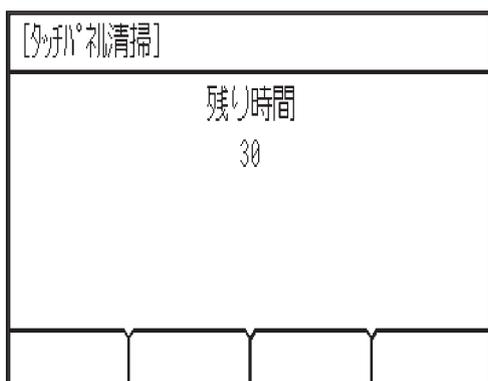


メニューの [**タッチパネル清掃**] にタッチします。

確認画面が表示されます。

[OK] ボタンをタッチします。

2

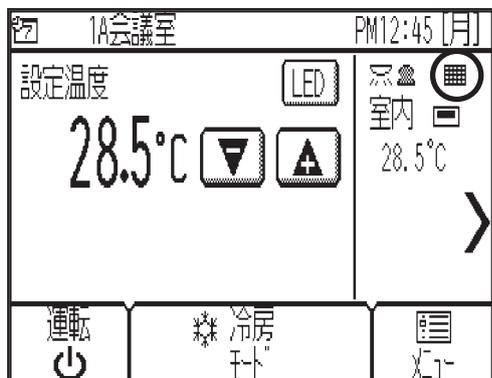


タッチパネルが 30 秒間無効化され、その後メニュー画面に戻ります。

* タッチパネルに触れると、ブザーが鳴ります。

タッチパネルを清掃する時は、乾いた柔らかい布か、中性洗剤に浸しよく絞った布、またはエタノールをしみ込ませた柔らかい布を使用してください。有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

フィルター情報

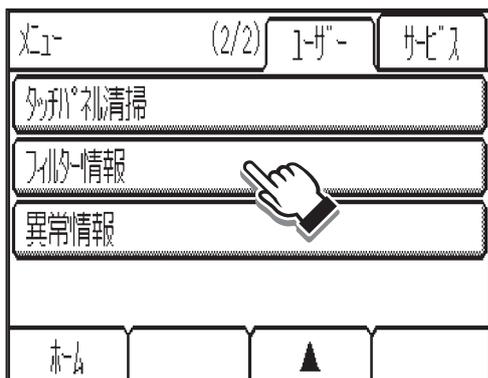


フィルターの清掃時期になると、ホーム画面に  を表示します。

フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。
 フィルターの清掃方法については、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

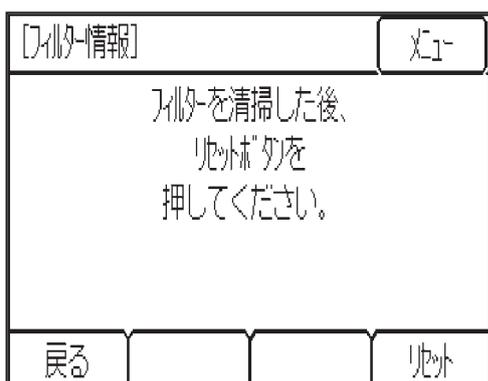
ボタン操作

1



メニューの [フィルター情報] にタッチします。

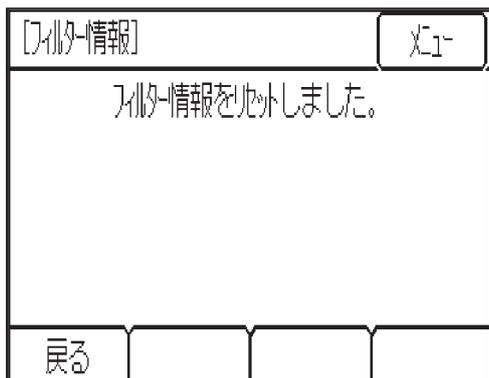
2



[リセット] ボタンにタッチして、フィルターサインをリセットします。

確認画面が表示されます。
 [OK] ボタンをタッチします。

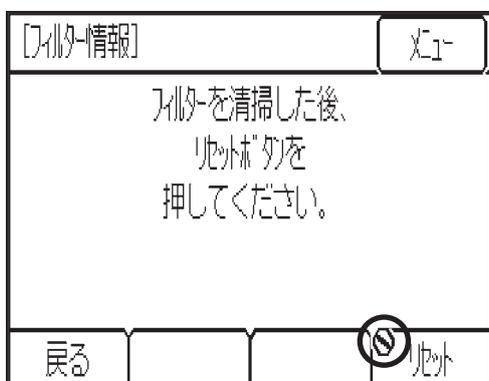
3



フィルター情報がリセットされたことを示すメッセージを表示します。

画面移動方法

- [メニュー] ボタン：メニュー画面に戻る
- [戻る] ボタン：前の画面に戻る



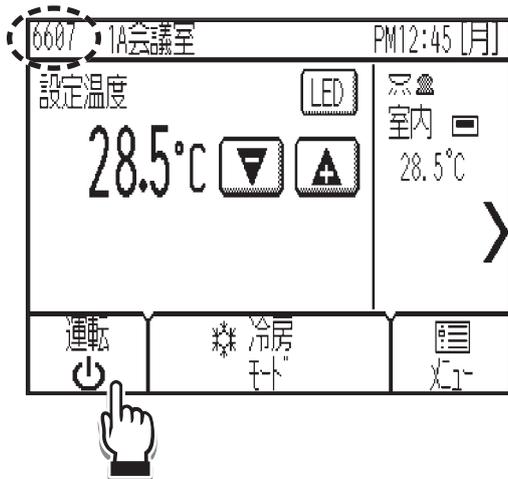
[リセット] ボタンに  が表示されるときは、集中管理中のため、フィルターサインをリセットすることはできません。

2 台以上の室内ユニットが接続されている場合は、フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。

いずれかの室内ユニットのフィルター清掃時期になると、 が表示されます。フィルターサインをリセットすると、すべての室内ユニットの積算時間がリセットされます。

 は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

フィルター清掃時期の積算時間は、室内ユニットの機種によって異なります。



空調機の運転を継続することのできる異常が発生した場合は、ホーム画面の左上の表示領域(点線で囲まれた領域)に、エラーコードのみを表示します。
 この場合、LED インジケータは点滅しません。
 このような異常をリセットするには、**[運転/停止]** ボタンを押します。

仕様

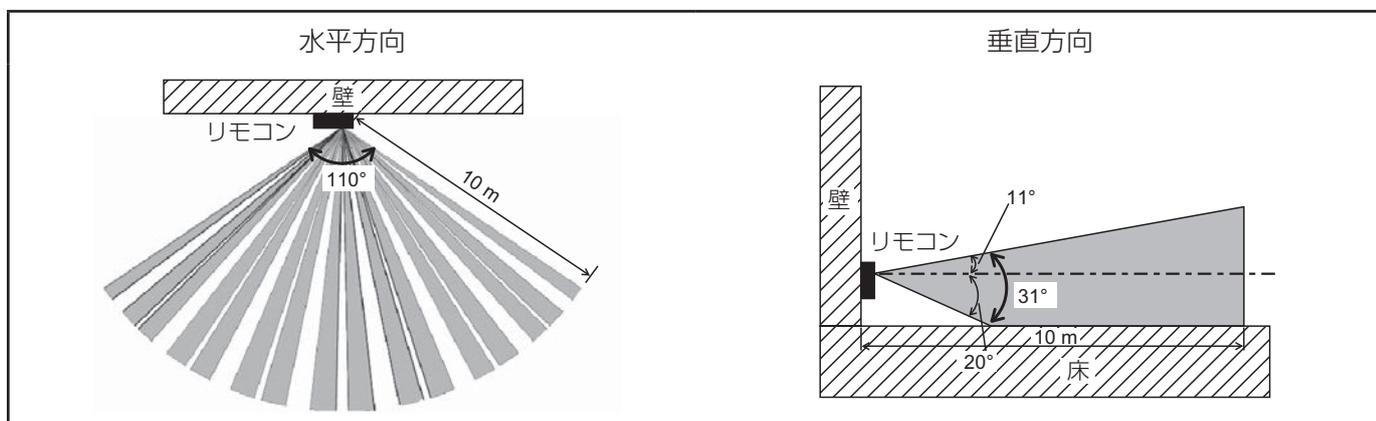
本体仕様

仕様			
電源		DC17-32 V *1 (M-NET 接続のみ)	室外ユニットから M-NET 伝送線を介して受電。 本機の消費電力係数 *2 は「2」です。
使用環境	温度	使用温度範囲	0°C ~ +40°C
		保管温度範囲	-20°C ~ +60°C
	湿度	20% ~ 90% RH (結露なきこと)	
質量		0.3kg	
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)		140 x 120 (123) x 25 (28.8) mm * 括弧内の数値は、突起部を含めた寸法です。	

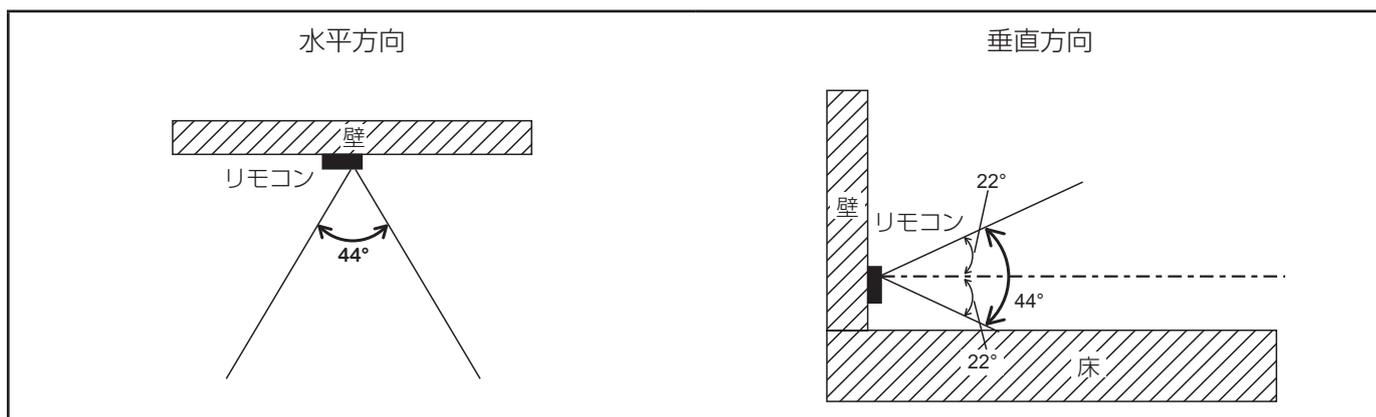
*1 市販の DC 電源装置は使用できません。

*2 「消費電力係数」とは、M-NET 伝送線から受電し、動作する機器の消費電力を表す係数です。
据付工事説明書の第 1 章第 3 節「システム図」を参照してください。

人感センサ検知エリア



照度センサ検知エリア



同時使用可 / 不可組合わせ表

	週間スケジュール設定	オン/オフタイマー	消忘れ防止タイマー	設定温度自動復帰	設定温度範囲制限	操作ロック	集中管理中	人感省エネ設定
週間スケジュール設定		× ¹	○	○	○	○	○ ^{*1}	○
オン/オフタイマー	× ¹		○	○	○	○	○ ^{*1}	○
消忘れ防止タイマー	○	○		○	○	○	○ ^{*1}	○
設定温度自動復帰	○	○	○		× ²	○	○ ^{*1}	△ ¹
設定温度範囲制限	○	○	○	× ²		○	○	○
操作ロック	○	○	○	○	○		○	○
集中管理中	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○	○		△ ²
人感省エネ設定	○	○	○	△ ¹	○	○	△ ²	

○: 同時使用可能な機能 △: 条件付き ×: 同時使用不可能な機能

×¹: 「オン/オフタイマー」有効時、「週間スケジュール設定」は無効です。

×²: 「設定温度範囲制限」有効時、「設定温度自動復帰」機能は使用できません。

△¹: 人感省エネ設定の「設定温度スライド」モードで運転しているときは、「設定温度自動復帰」機能は実行されません。

△²: 集中コントローラから禁止されている動作は、人感省エネ制御モードで実行されません。

*1: 集中コントローラから禁止されている動作は、実行されません。



- この取扱説明書は据付後お客様にお渡しください。
- ご不明な点に関するご相談はお買上げの販売店または三菱電機冷熱相談センターにお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)



〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT07128X01